

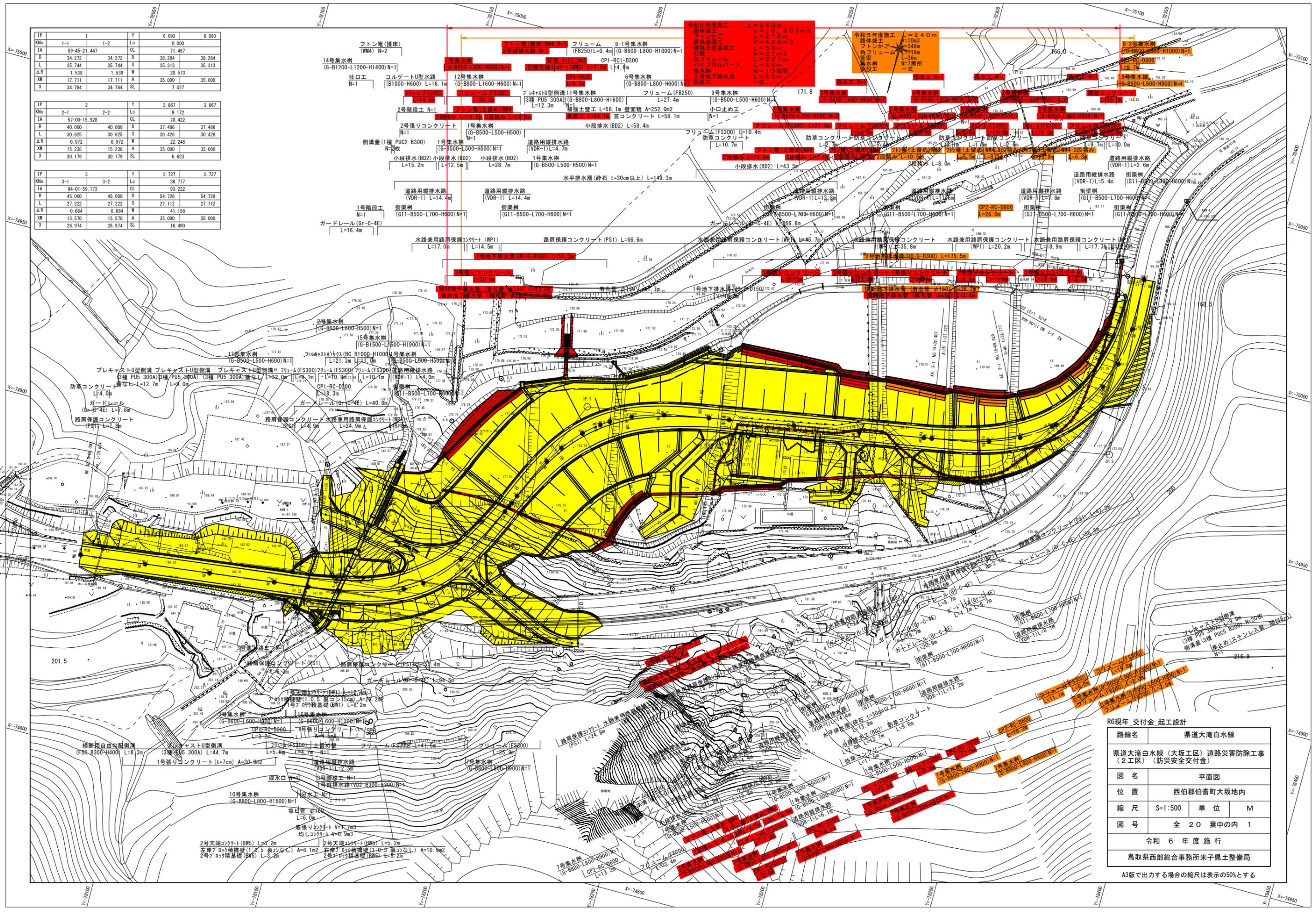
IP	1-1	1	Y	6.093	6.093
KNo	1-1	1-2	Lc	0.000	
IA	59.45-21.447		CL	71.487	
R	34.272	34.272	D	38.284	38.284
L	35.744	35.744	S	35.313	35.313
ΔR	1.538	1.538	W	20.573	
XM	17.711	17.711	A	35.000	35.000
X	34.784	34.784	SL	7.027	

IP	2-1	2	Y	3.867	3.867
KNo	2-1	2-2	Lc	9.172	
IA	57.00-15.928		CL	70.422	
R	40.000	40.000	D	37.486	37.486
L	30.625	30.625	S	30.426	30.426
ΔR	0.972	0.972	W	22.248	
XM	15.238	15.238	A	35.000	35.000
X	30.179	30.179	SL	6.623	

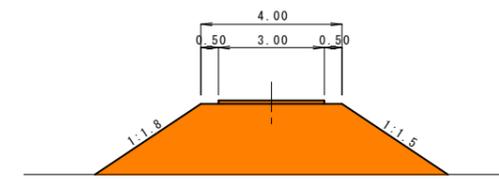
IP	3-1	3	Y	2.727	2.727
KNo	3-1	3-2	Lc	38.777	
IA	84.01-59.173		CL	93.222	
R	45.000	45.000	D	54.728	54.728
L	27.222	27.222	S	27.112	27.112
ΔR	0.684	0.684	W	41.158	
XM	13.570	13.570	A	35.000	35.000
X	26.974	26.974	SL	16.490	



路線名	県道大滝白水線
位置	西白郡柏着町大坂地内
縮尺	S=1:500 単位 M
図号	全 20 葉中の内 1
令和 6 年度 施行	
鳥取県西部総合事務所米子県土整備局	
A3版で出力する場合の縮尺は表示の50%とする	

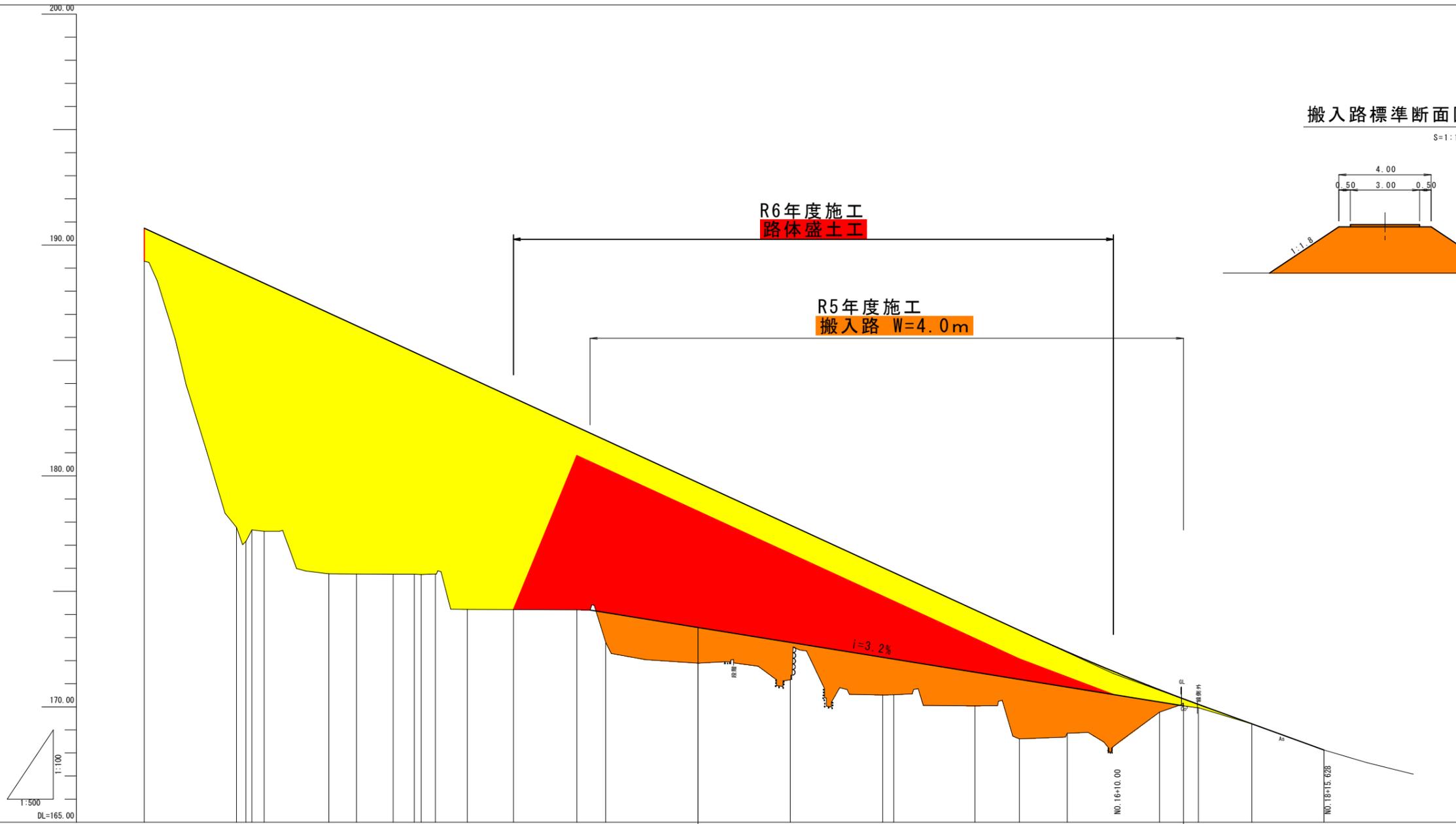
搬入路標準断面図

S=1:100



R6年度施工  
路体盛土工

R5年度施工  
搬入路 W=4.0m



十画	勾配																						
	盛土	1.43	11.12	10.83	11.29	10.03	9.49	9.18	1.43	7.82	8.75	7.82	6.70	5.52	5.29	4.16	4.70	3.53	0.97	0.15	0.00	0.00	
	切土																						
	計画高	190.73	188.89	188.10	187.05	185.77	185.22	184.93		183.38	182.12	181.54	179.71	177.87	176.03	175.81	174.20	173.31	172.38	170.74	170.11	169.26	168.13
地盤高	189.30	177.77	177.66	175.76	175.74	175.73	175.75		174.21	174.20	172.79	171.17	170.04	168.61	168.85	168.85	168.61	168.85	169.77	169.96	169.26	168.13	
追加距離	120.000	140.000	143.310	160.000	175.935	180.000	183.107		200.000	213.732	220.000	240.000	260.000	280.000	282.407	300.000	309.629	320.000	340.000	346.406	360.000	375.628	
単距離	13.722	20.000	2.360	14.000	7.935	1.479	3.107		10.000	13.722	6.269	20.000	20.000	2.407	17.593	9.629	10.371	10.982	8.406	11.554	15.628		
測点	NO. 6	NO. 7	KA2-2	NO. 8	KA2-1	NO. 9	KA2-2		NO. 10	KA2-2	NO. 11	NO. 12	NO. 13	NO. 14	KA3-1	NO. 15	ME3-1	NO. 16	NO. 17	ME3-2	NO. 18	EP	
曲線	<p>36.39 31.27</p> <p>1A=57.00-16 R1=45.000 L1= 35.000 CA= 75.452 1A=84.01-59 R1=45.000 L1= 27.222 CA= 75.452</p> <p>IP3 R1=45.000 1A=84.01-59 R1=45.000 L1= 27.222 CA= 75.452</p>																						
片勾配摺付図																							
拡幅摺付図																							

現段階の進入路計画は、公園上で各所有者が所有

R6現年 交付金 起工設計

路線名	県道大滝白水線	
位置	西伯郡伯耆町大坂地内	
縮尺	V=1:100 H=1:500	単位 M
図号	全 20 葉中の内 2	
令和 6 年度 施行		
鳥取県西部総合事務所米子県土整備局		

A3版で出力する場合の縮尺は表示の50%とする

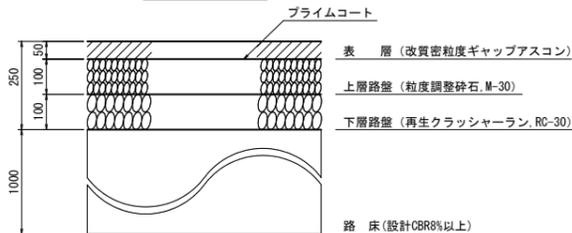
設計条件		
設計基準の項目	基準目標値	採用値
構造規格	第3種4級	
設計速度	30 km/hr	
幅員構成		
最小曲線半径	30 m	34.272 m
最小曲線長	50 m	70.422 m
緩和区間長	25 m	27.222 m
視距	30 m	30 m以上
最急縦断勾配	8.0 (11.0) %	9.184 %
最小縦断凸型	250 m	527 m
曲線半径 凹型	250 m	616 m
最小縦断曲線長	25 m	40 m
最大片勾配	6.00 %	6.00 %
合成勾配	11.50 %	10.970 %
標準横断勾配	1.5~2.0 %	2.000 %

舗装計画				
交通量区分	信頼度90%			
舗装計画交通量	15 ≤ T < 40 (台/日・方向)			
設計CBR	8%以上			
設計基準の項目		基準目標値	採用値	
TA	9cm		11cm	
舗装構成層	種類	厚さ	等価換算係数	換算厚
表層	改質密粒度ギャップアスコン	5	1.00	5.00
上層路盤	粒度調整砕石、M-30	10	0.35	3.50
下層路盤	再生クラッシャーラン、RC-30	10	0.25	2.50
計		25 cm		11.00cm

※ ( ) 内は、特例値を示す。

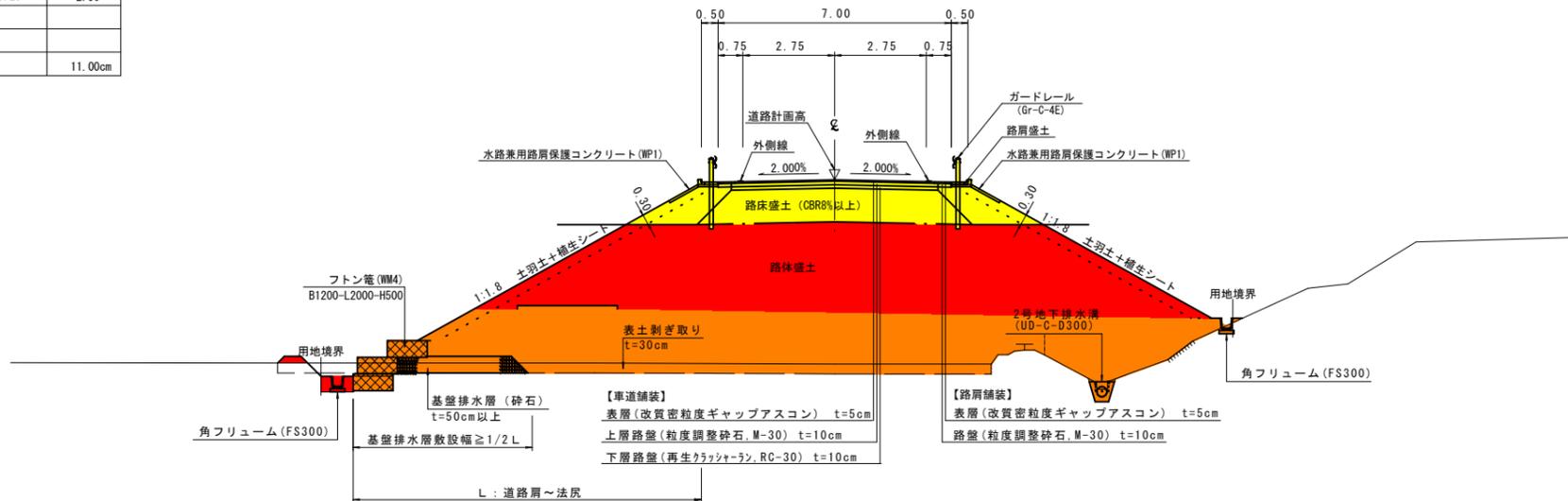
### 舗装構成 S=1:10

#### 車道舗装



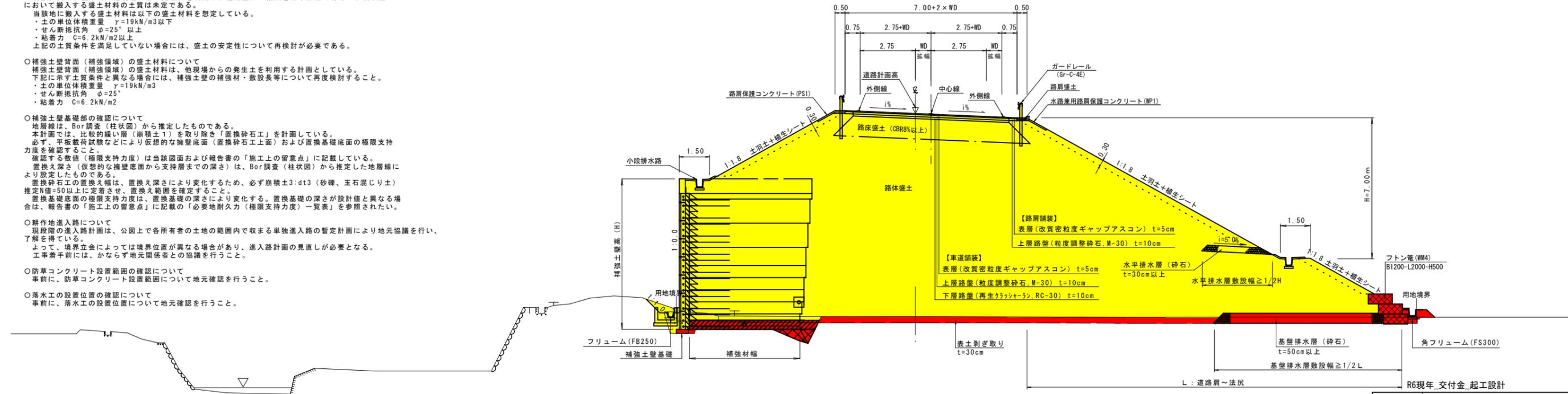
## 標準断面図 S=1:100

### 一般部 NO.14付近



### 補強土壁部 NO.9+10.000付近

- 留意事項 (報告書参照)**
- 道路盛土材料について  
当該区間は、基本的に他現場からの発生土を利用し、道路盛土の構築を行う計画であるが、現段階において搬入する盛土材料の土質は未定である。  
当該地に搬入する盛土材料は以下の盛土材料を想定している。  
・土の単位体積重量  $\gamma=19\text{kN/m}^3$  以下  
・せん断抵抗角  $\phi=25^\circ$  以上  
・粘着力  $c=6.2\text{kN/m}^2$  以上  
上記の土質条件を満足していない場合には、盛土の安定性について再検討が必要である。
  - 補強土壁背面 (補強領域) の盛土材料について  
補強土壁背面 (補強領域) の盛土材料は、他現場からの発生土を利用する計画としている。  
下記に示す土質条件と異なる場合には、補強土壁の補強材・敷設長等について再度検討すること。  
・土の単位体積重量  $\gamma=19\text{kN/m}^3$   
・せん断抵抗角  $\phi=25^\circ$   
・粘着力  $c=6.2\text{kN/m}^2$
  - 補強土壁基礎部の確認について  
地層情報は、Bor調査 (柱状図) から推定したものである。  
本計画では、比較的緩い層 (前積土1) を取り除き「置換砕石工」を計画している。  
必ず、平板載荷試験などにより仮想的な補強底面 (置換砕石工上面) および置換基礎底面の極限支持力度を確認すること。  
確認する数値 (極限支持力度) は当該図面および報告書の「施工上の留意点」に記載している。  
置換え深さ (仮想的な補強底面から支持層までの深さ) は、Bor調査 (柱状図) から推定した地層線により設定したものである。  
置換砕石工の置換え幅は、置換え深さにより変化するが、必ず前積土3:dt3 (砂礫、玉石混じり土) 推定N値=50以上に定着させ、置換え範囲を推定すること。  
置換基礎底面の極限支持力度は、置換基礎の深さにより変化する。置換基礎の深さが設計値と異なる場合は、報告書の「施工上の留意点」に記載の「必要地耐力 (極限支持力度) 一覧表」を参照されたい。
  - 耕作地進入路について  
現段階の進入路計画は、公園上で各所有者の土地の範囲内で収まる単独進入路の暫定計画により地元協議を行い、了解を得ている。  
よって、境界立会によっては境界位置が異なる場合があり、進入路計画の見直しが必要となる。  
工事着手前には、かならず地元関係者との協議を行うこと。
  - 防草コンクリート設置範囲の確認について  
事前に、防草コンクリート設置範囲について地元確認を行うこと。
  - 落水工の設置位置の確認について  
事前に、落水工の設置位置について地元確認を行うこと。

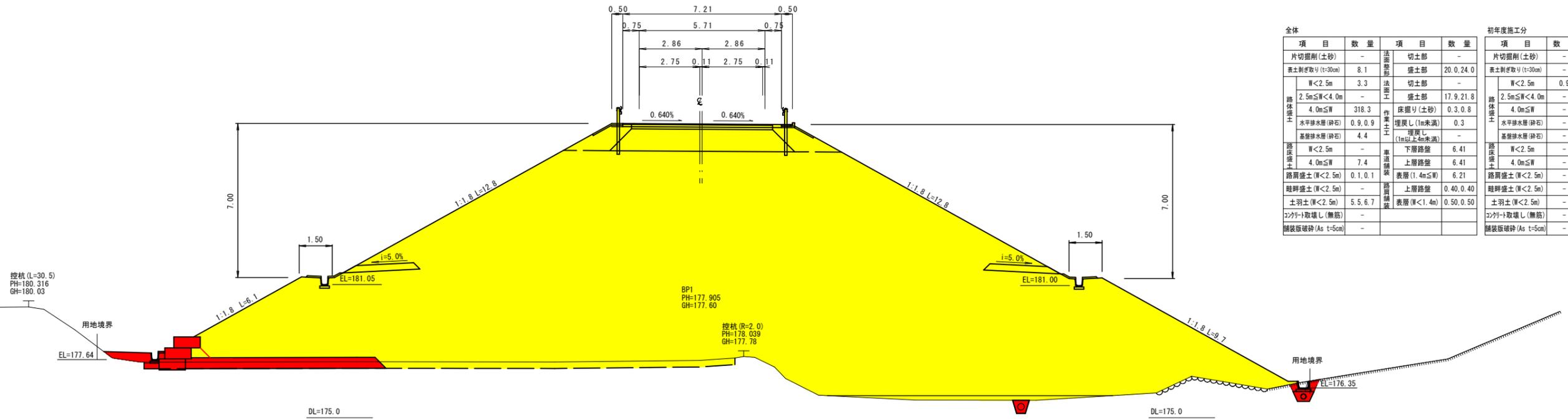


- 工事用道路 (迂回路) 計画について  
工事用道路 (迂回路) 計画は、本線道路施工時 (NO.0~NO.6区間) に一般車両を通行させるための道路計画である。  
最終的に工事用道路の一部を耕作地への進入路として存置する。  
・耕作地の進入路として迂回路を残す区間: KNO.4+10.7付近~KNO.7+9.0区間  
・本工事完成後に迂回路を撤去する区間: KNO.0~KNO.0.4+10.7区間
- プレキャストボックスカルバート地盤支持力度の確認について  
必要地耐力 (極限支持力度) は、計算結果より最大となる地盤反力度に安全率3を乗じた値以上を確認すること。  
設計計算の詳細は「設計計算書 1: 図案工設計計算書」を参照されたい。  
・極限支持力度=地盤反力度 ( $q=97.666\text{kN/m}^2$ )  $\times 3$  (安全率)  
=292.998kN/m<sup>2</sup>以上を確認
- 段切について  
斜面勾配が1:4以上となる箇所に盛土する場合は、斜面に段切を行うこと。

路線名	県道大滝白水線		
位置	県道大滝白水線 (大坂工区) 道路災害防除工事 (2工区) (防災安全交付金)		
図名	標準断面図		
位置	西伯郡伯耆町大坂地内		
縮尺	図示	単位	M, MM
図号	全 20 葉中の内 3		
令和 6 年度 施行			
鳥取県西部総合事務所米子県土整備局			

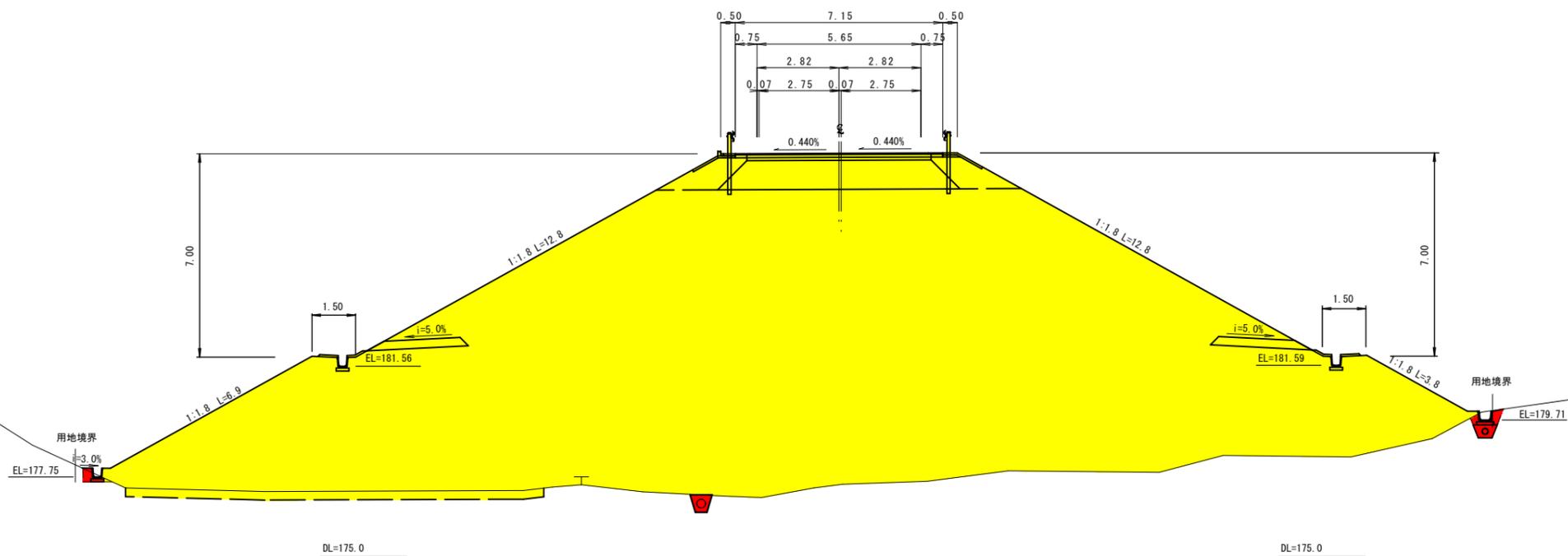
A3版で出力する場合の縮尺は表示の50%とする

NO. 7+06.000  
GH=177.60  
FH=188.34



全体				初年度施工分			
項目	数量	項目	数量	項目	数量	項目	数量
片切掘削(土砂)	-	切土部	-	片切掘削(土砂)	-	切土部	-
表土削り取り(t=30cm)	8.1	盛土部	20.0, 24.0	表土削り取り(t=30cm)	-	盛土部	-
W<2.5m	3.3	切土部	-	W<2.5m	0.9	切土部	-
2.5m≦W<4.0m	-	盛土部	17.9, 21.8	2.5m≦W<4.0m	-	盛土部	-
4.0m≦W	318.3	床掘り(土砂)	0.3, 0.8	4.0m≦W	-	床掘り(土砂)	-
水平排水層(砕石)	0.9, 0.9	埋戻し(1m未満)	0.3	水平排水層(砕石)	-	埋戻し(1m未満)	-
基盤排水層(砕石)	4.4	埋戻し(1m以上4m未満)	-	基盤排水層(砕石)	-	埋戻し(1m以上4m未満)	-
W<2.5m	-	下層路盤	6.41	W<2.5m	-	下層路盤	-
4.0m≦W	7.4	上層路盤	6.41	4.0m≦W	-	上層路盤	-
路肩盛土(W<2.5m)	0.1, 0.1	表層(1.4m≦W)	6.21	路肩盛土(W<2.5m)	-	表層(1.4m≦W)	-
畦畔盛土(W<2.5m)	-	上層路盤	0.40, 0.40	畦畔盛土(W<2.5m)	-	上層路盤	-
土羽土(W<2.5m)	5.5, 6.7	表層(W<1.4m)	0.50, 0.50	土羽土(W<2.5m)	-	表層(W<1.4m)	-
コンクリート取壊し(無筋)	-			コンクリート取壊し(無筋)	-		
舗装版破砕(As t=5cm)	-			舗装版破砕(As t=5cm)	-		

NO. 7  
GH=177.77  
FH=188.89



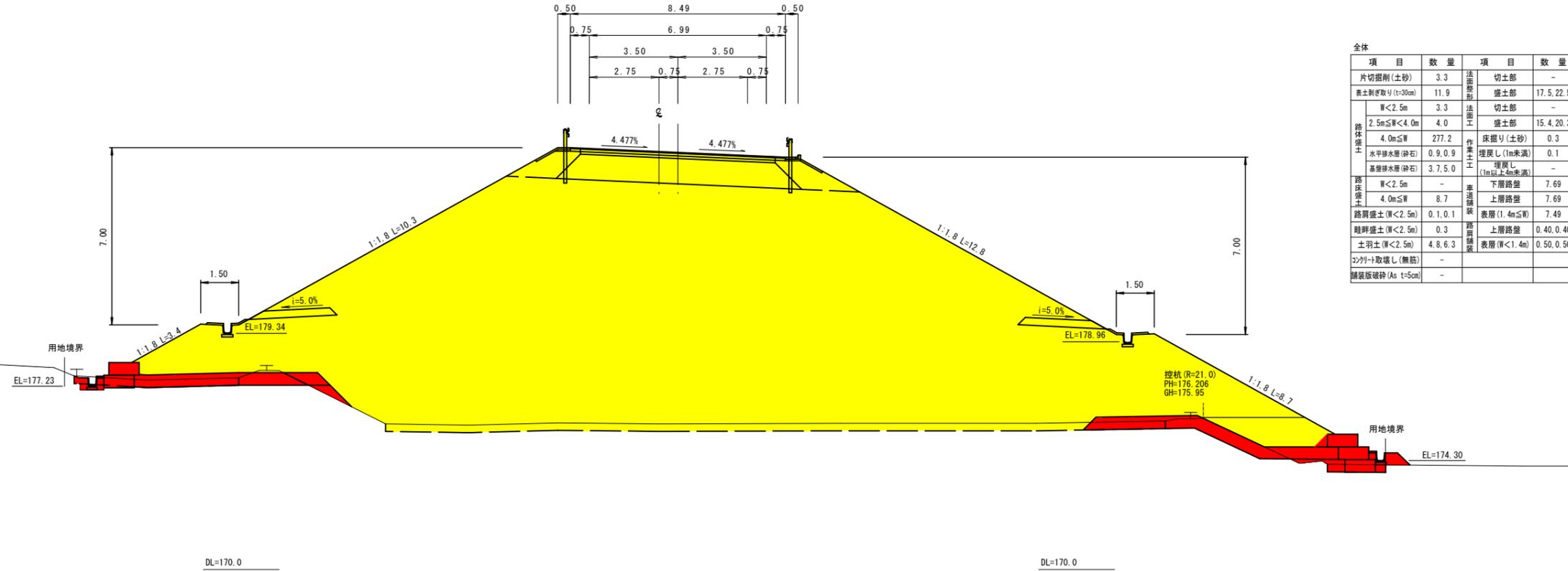
全体				初年度施工分			
項目	数量	項目	数量	項目	数量	項目	数量
片切掘削(土砂)	-	切土部	-	片切掘削(土砂)	-	切土部	-
表土削り取り(t=30cm)	4.3	盛土部	22.2, 18.4	表土削り取り(t=30cm)	-	盛土部	-
W<2.5m	2.3	切土部	-	W<2.5m	0.1	切土部	-
2.5m≦W<4.0m	-	盛土部	20.0, 16.3	2.5m≦W<4.0m	-	盛土部	-
4.0m≦W	304.3	床掘り(土砂)	0.2, 0.3, 0.7	4.0m≦W	-	床掘り(土砂)	-
水平排水層(砕石)	0.9, 0.9	埋戻し(1m未満)	0.1, 0.2	水平排水層(砕石)	-	埋戻し(1m未満)	-
基盤排水層(砕石)	-	埋戻し(1m以上4m未満)	-	基盤排水層(砕石)	-	埋戻し(1m以上4m未満)	-
W<2.5m	-	下層路盤	6.35	W<2.5m	-	下層路盤	-
4.0m≦W	7.3	上層路盤	6.35	4.0m≦W	-	上層路盤	-
路肩盛土(W<2.5m)	0.1, 0.1	表層(1.4m≦W)	6.15	路肩盛土(W<2.5m)	-	表層(1.4m≦W)	-
畦畔盛土(W<2.5m)	-	上層路盤	0.40, 0.40	畦畔盛土(W<2.5m)	-	上層路盤	-
土羽土(W<2.5m)	6.2, 5.0	表層(W<1.4m)	0.50, 0.50	土羽土(W<2.5m)	-	表層(W<1.4m)	-
コンクリート取壊し(無筋)	-			コンクリート取壊し(無筋)	-		
舗装版破砕(As t=5cm)	-			舗装版破砕(As t=5cm)	-		

R6現年\_交付金\_起工設計  
BP(NO.0)~KA1-1(NO.3)+10.534

路線名	県道大滝白水線
県道大滝白水線(大坂工区)道路災害防除工事(2工区)(防災安全交付金)	
図名	工程-7 横断面図(4/10)
位置	西伯郡伯耆町大坂地内
縮尺	S=1:100 単位 M
図号	全 20 葉中の内 4
令和 6 年度 施行	
鳥取県西部総合事務所米子県土整備局	

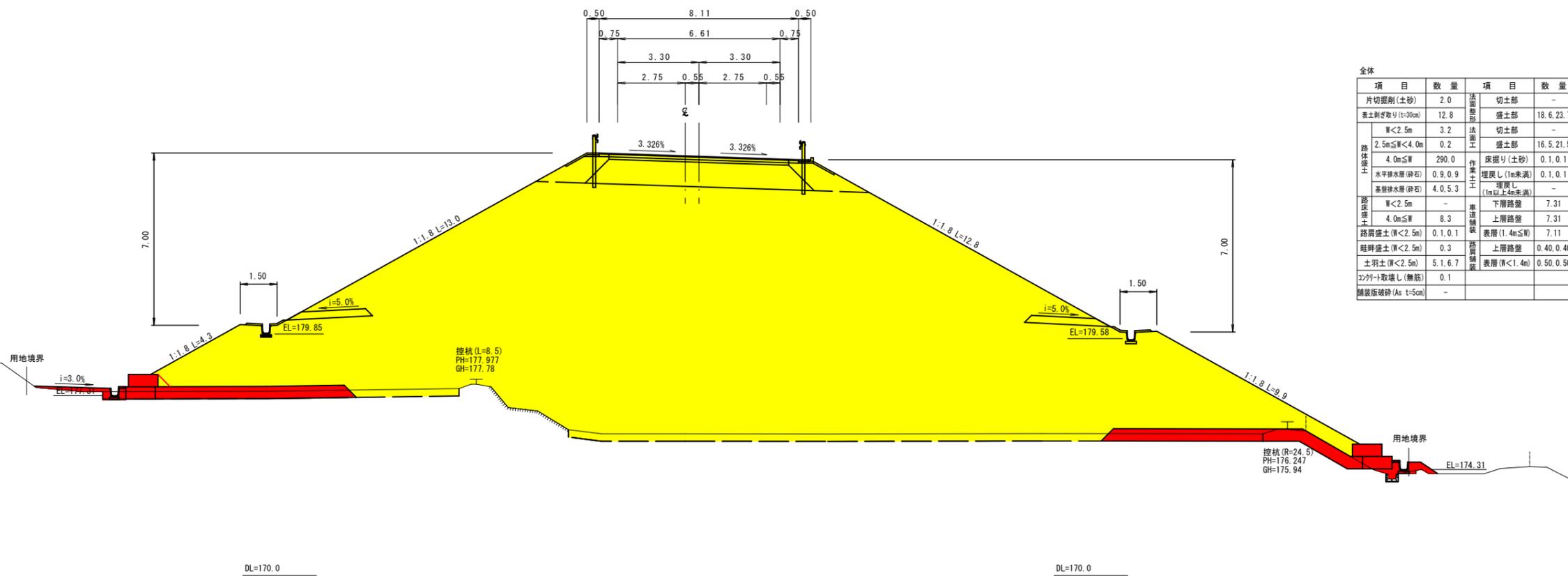
A3版で出力する場合の縮尺は表示の50%とする

NO. 8+06.000  
GH=175.75  
FH=186.50



全体				初年度施工分				
項目	数量	項目	数量	項目	数量	項目	数量	
片切掘削(土砂)	3.3	切土部	-	片切掘削(土砂)	-	切土部	-	
表土削ぎ取り(t=30cm)	11.9	盛土部	17.5.22.5	表土削ぎ取り(t=30cm)	-	盛土部	-	
路体盛土	W<2.5m	3.3	切土部	-	W<2.5m	0.1	切土部	-
	2.5m≤W<4.0m	4.0	盛土部	15.4.20.3	2.5m≤W<4.0m	-	盛土部	-
	4.0m≤W	277.2	床掘り(土砂)	0.3	4.0m≤W	-	床掘り(土砂)	-
	水平排水層(砕石)	0.9.0.9	埋戻し(1m未満)	0.1	水平排水層(砕石)	-	埋戻し(1m未満)	-
	蓋排水層(砕石)	3.7.5.0	埋戻し(1m以上4m未満)	-	蓋排水層(砕石)	-	埋戻し(1m以上4m未満)	-
路床盛土	W<2.5m	-	下層路盤	7.69	W<2.5m	-	下層路盤	-
	4.0m≤W	8.7	上層路盤	7.69	4.0m≤W	-	上層路盤	-
路肩盛土(W<2.5m)	0.1.0.1	表層(1.4m≤W)	7.49	路肩盛土(W<2.5m)	-	表層(1.4m≤W)	-	
畦畔盛土(W<2.5m)	0.3	上層路盤	0.40.0.40	畦畔盛土(W<2.5m)	-	上層路盤	-	
土羽土(W<2.5m)	4.8.6.3	表層(W<1.4m)	0.50.0.50	土羽土(W<2.5m)	-	表層(W<1.4m)	-	
コンクリート取壊し(無筋)	-			コンクリート取壊し(無筋)	-			
舗装版破砕(As t=5cm)	-			舗装版破砕(As t=5cm)	-			

NO. 8  
GH=175.76  
FH=187.05



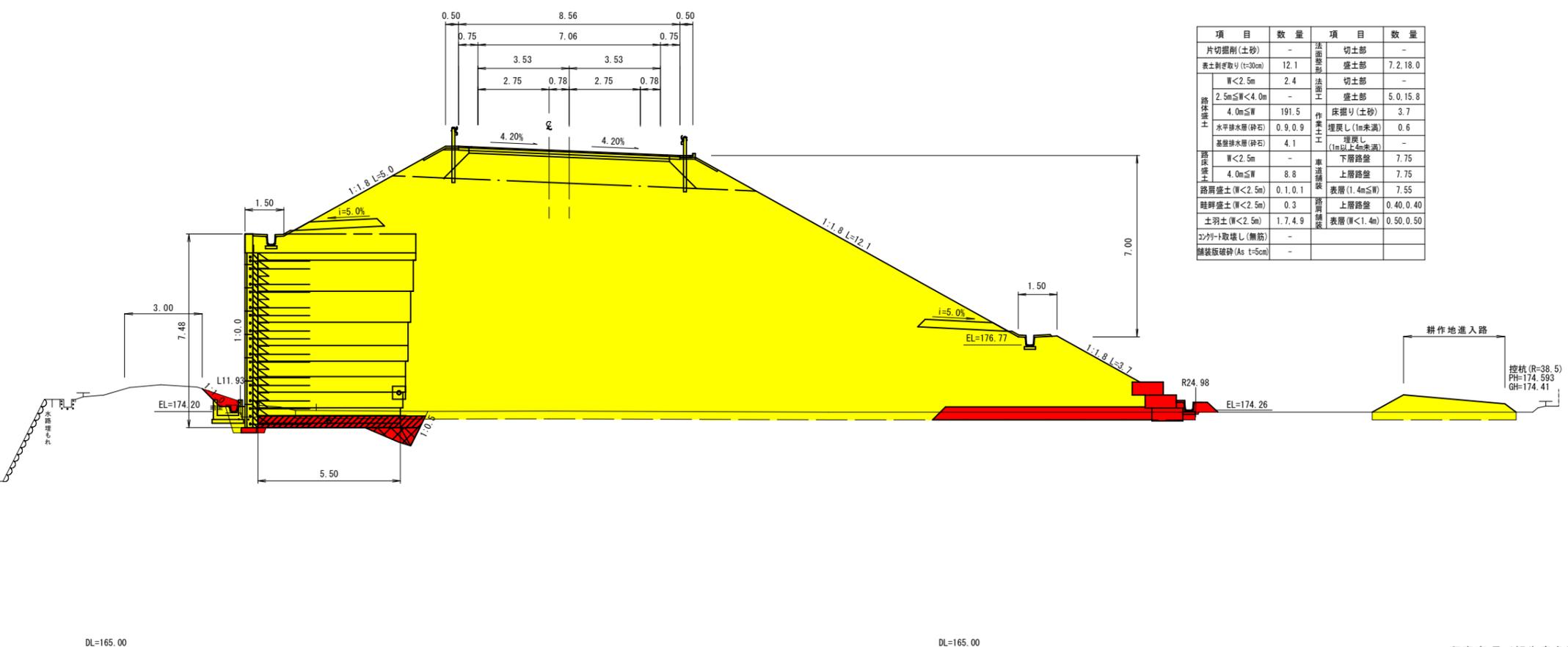
全体				初年度施工分				
項目	数量	項目	数量	項目	数量	項目	数量	
片切掘削(土砂)	2.0	切土部	-	片切掘削(土砂)	-	切土部	-	
表土削ぎ取り(t=30cm)	12.8	盛土部	18.6.23.7	表土削ぎ取り(t=30cm)	-	盛土部	-	
路体盛土	W<2.5m	3.2	切土部	-	W<2.5m	0.5	切土部	-
	2.5m≤W<4.0m	0.2	盛土部	16.5.21.5	2.5m≤W<4.0m	-	盛土部	-
	4.0m≤W	290.0	床掘り(土砂)	0.1.0.1	4.0m≤W	-	床掘り(土砂)	-
	水平排水層(砕石)	0.9.0.9	埋戻し(1m未満)	0.1.0.1	水平排水層(砕石)	-	埋戻し(1m未満)	-
	蓋排水層(砕石)	4.0.5.3	埋戻し(1m以上4m未満)	-	蓋排水層(砕石)	-	埋戻し(1m以上4m未満)	-
路床盛土	W<2.5m	-	下層路盤	7.31	W<2.5m	-	下層路盤	-
	4.0m≤W	8.3	上層路盤	7.31	4.0m≤W	-	上層路盤	-
路肩盛土(W<2.5m)	0.1.0.1	表層(1.4m≤W)	7.11	路肩盛土(W<2.5m)	-	表層(1.4m≤W)	-	
畦畔盛土(W<2.5m)	0.3	上層路盤	0.40.0.40	畦畔盛土(W<2.5m)	-	上層路盤	-	
土羽土(W<2.5m)	5.1.6.7	表層(W<1.4m)	0.50.0.50	土羽土(W<2.5m)	-	表層(W<1.4m)	-	
コンクリート取壊し(無筋)	0.1			コンクリート取壊し(無筋)	-			
舗装版破砕(As t=5cm)	-			舗装版破砕(As t=5cm)	-			

R6現年 交付金 起工設計  
NO. 8~NO. 8+06.000

路線名	県道大滝白水線		
位置	県道大滝白水線(大坂工区) 道路災害防除工事(2工区)(防災安全交付金)		
図名	工程-7 横断面図(5/10)		
位置	西伯郡伯耆町大坂地内		
縮尺	S=1:100	単位	M
図号	全 20 葉中の内 5		
令和 6 年度 施行			
鳥取県西部総合事務所米子県土整備局			

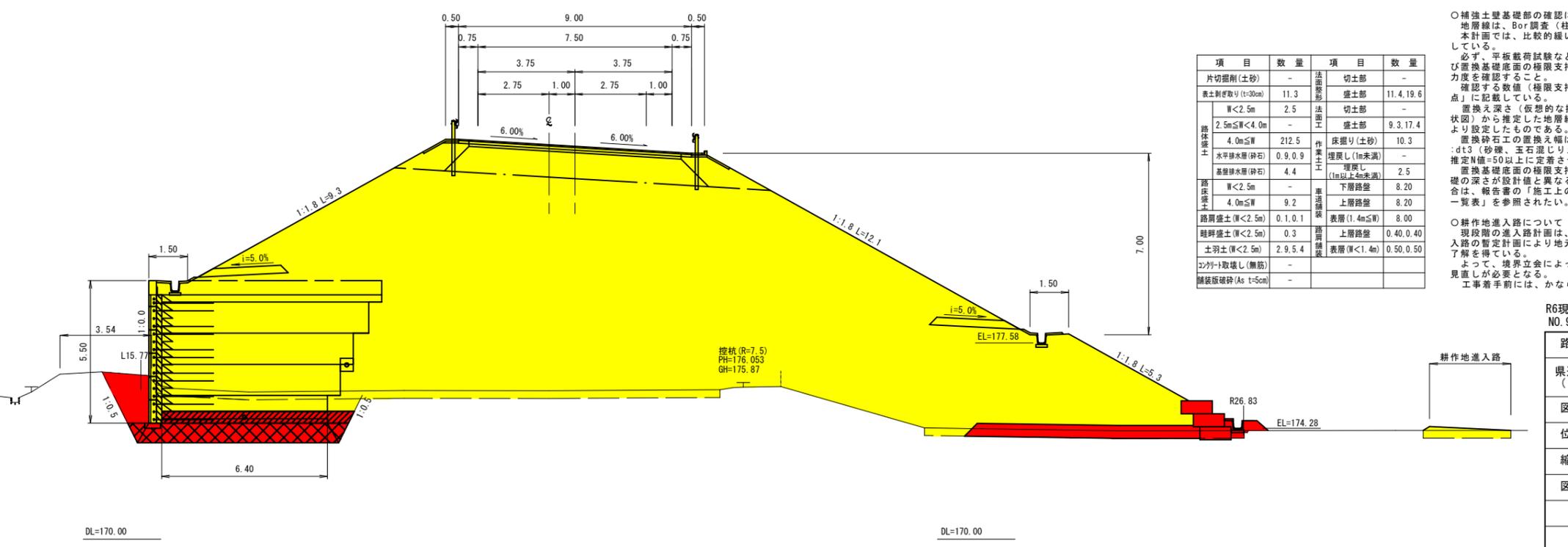
A3版で出力する場合の縮尺は表示の50%とする

NO. 9+10.000  
GH=174.22  
FH=184.30



項目	数量	項目	数量	
片切掘削(土砂)	-	切土部	-	
表土剥ぎ取り(t=30cm)	12.1	盛土部	7.2.18.0	
路体盛土	W<2.5m	2.4	切土部	-
	2.5m≤W<4.0m	-	盛土部	5.0.15.8
	4.0m≤W	191.5	床掘り(土砂)	3.7
	水平排水層(砕石)	0.9.0.9	埋戻し(1m未満)	0.6
	基礎排水層(砕石)	4.1	埋戻し(1m以上4m未満)	-
路床盛土	W<2.5m	-	下層路盤	7.75
	4.0m≤W	8.8	上層路盤	7.75
路肩盛土(W<2.5m)	0.1.0.1	表層(1.4m≤W)	7.55	
畦畔盛土(W<2.5m)	0.3	上層路盤	0.40.0.40	
土羽土(W<2.5m)	1.7.4.9	表層(W<1.4m)	0.50.0.50	
コケリ取壊し(無筋)	-			
舗装砕石(As t=5cm)	-			

NO. 9  
GH=175.73  
FH=185.22



項目	数量	項目	数量	
片切掘削(土砂)	-	切土部	-	
表土剥ぎ取り(t=30cm)	11.3	盛土部	11.4.19.6	
路体盛土	W<2.5m	2.5	切土部	-
	2.5m≤W<4.0m	-	盛土部	9.3.17.4
	4.0m≤W	212.5	床掘り(土砂)	10.3
	水平排水層(砕石)	0.9.0.9	埋戻し(1m未満)	-
	基礎排水層(砕石)	4.4	埋戻し(1m以上4m未満)	2.5
路床盛土	W<2.5m	4.4	下層路盤	8.20
	4.0m≤W	9.2	上層路盤	8.20
路肩盛土(W<2.5m)	0.1.0.1	表層(1.4m≤W)	8.00	
畦畔盛土(W<2.5m)	0.3	上層路盤	0.40.0.40	
土羽土(W<2.5m)	2.9.5.4	表層(W<1.4m)	0.50.0.50	
コケリ取壊し(無筋)	-			
舗装砕石(As t=5cm)	-			

留意事項 (報告書参照)

○補強土壁背面(補強領域)の盛土材料について  
補強土壁背面(補強領域)の盛土材料は、他現場からの発生土を利用する計画としている。  
下記に示す土質条件と異なる場合には、補強土壁の補強材・敷設長等について再度検討すること。  
・土の単位体積重量  $\gamma=19\text{kN/m}^3$   
・せん断抵抗角  $\phi=25^\circ$   
・粘着力  $C=6.2\text{kN/m}^2$

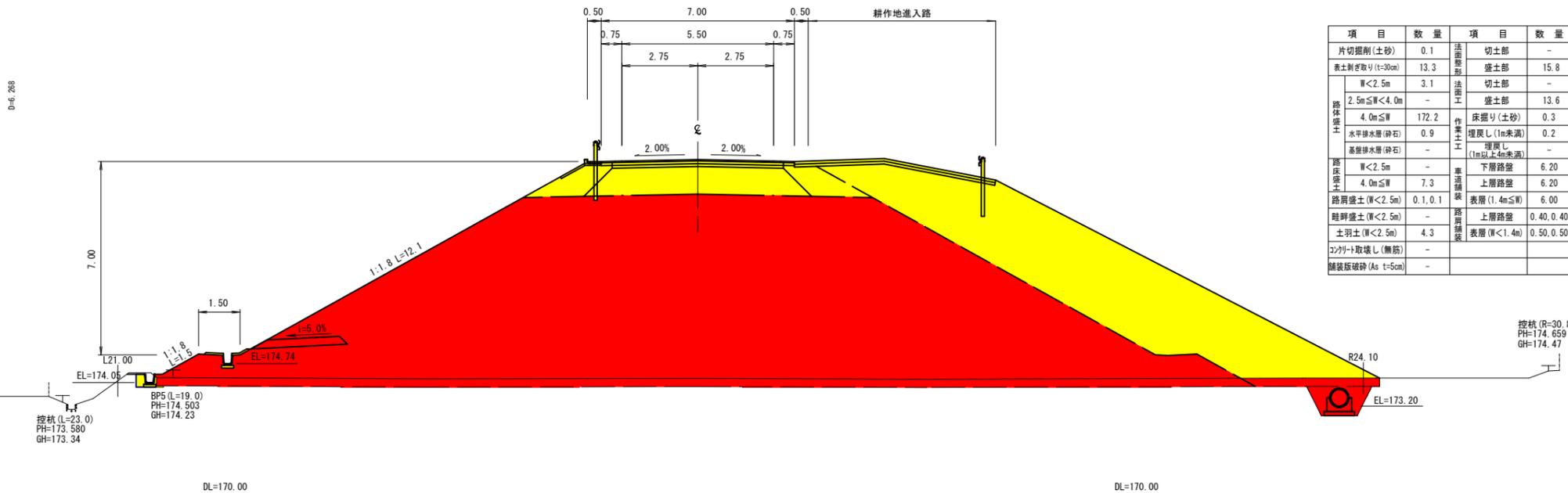
○補強土壁基礎部の確認について  
地層は、Bor調査(柱状図)から推定したものである。  
本計画では、比較的緩い層(崩積土1)を取り除き「置換砕石工」を計画している。  
必ず、平板載荷試験などにより仮想的な擁壁底面(置換砕石工上面)および置換基礎底面の極限支持力度を確認すること。  
確認する数値(極限支持力度)は当該図面および報告書の「施工上の留意点」に記載している。  
置換深さ(仮想的な擁壁底面から支持層までの深さ)は、Bor調査(柱状図)から推定した地層線により設定したものである。  
置換砕石工の置換幅は、置換深さにより変化するため、必ず崩積土3:dt3(砂礫、玉石混じり土)推定N値=50以上に定着させ、置換範囲を確定すること。  
置換基礎底面の極限支持力度は、置換基礎の深さにより変化する。置換基礎の深さが設計値と異なる場合は、報告書の「施工上の留意点」に記載の「必要地耐力(極限支持力度)一覧表」を参照されたい。

○耕作地進入路について  
現段階の進入路計画は、公図上で各所有者の土地の範囲内で収まる単独進入路の暫定計画により地元協議を行い、了解を得ている。  
よって、境界立会によっては境界位置が異なる場合があり、進入路計画の見直しが必要となる。  
工事着手前には、かならず地元関係者との協議を行うこと。

R6現年\_交付金\_起工設計  
NO. 9~NO. 9+10.000

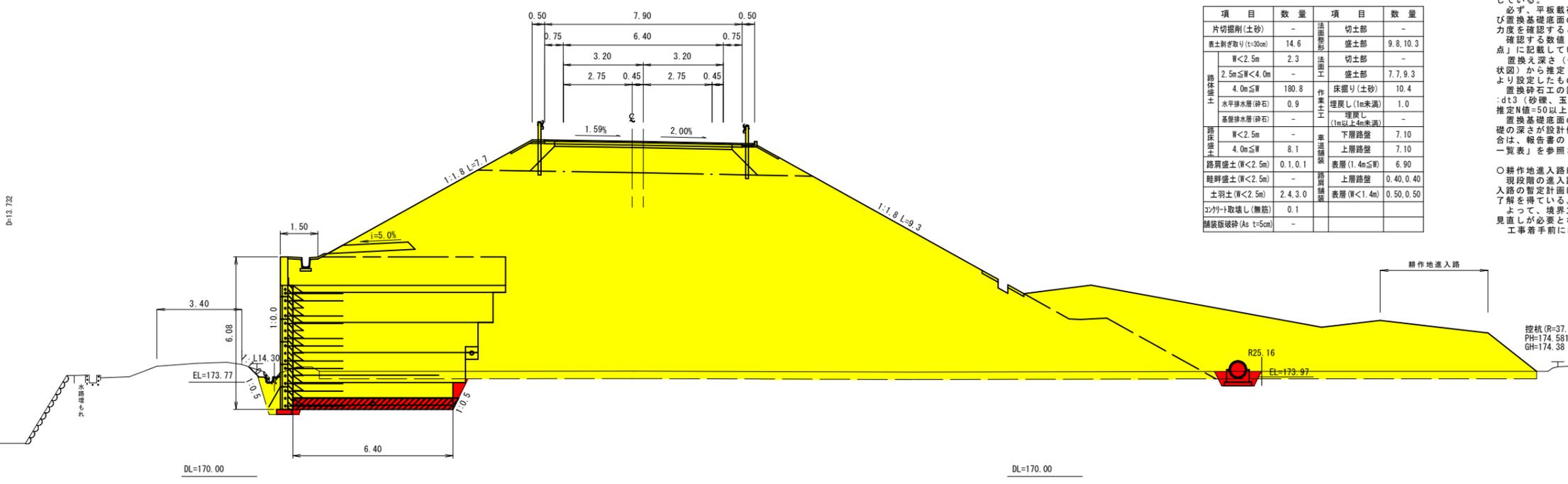
路線名	県道大滝白水線
県道大滝白水線(大坂工区)道路災害防除工事(2工区)(防災安全交付金)	
図名	横断面図(6/10)
位置	西伯郡伯耆町大坂地内
縮尺	S=1:100 単位 M
図号	全 20 葉中の内 6
令和 6 年度 施行	
鳥取県西部総合事務所米子県土整備局	

KA 2-2 (NO. 10+13.732)  
GH=174.20  
FH=182.12



項目	数量	項目	数量
片切掘削(土砂)	0.1	切土部	-
表土削ぎ取り(t=30cm)	13.3	盛土部	15.8
路体盛土		切土部	-
W<2.5m	3.1	盛土部	13.6
2.5m≤W<4.0m	-	切土部	-
4.0m≤W	172.2	盛土部	13.6
水平排水層(砕石)	0.9	床掘り(土砂)	0.3
基層排水層(砕石)	-	埋戻し(1m未満)	0.2
路床盛土		埋戻し(1m以上4m未満)	-
W<2.5m	-	下層路盤	6.20
4.0m≤W	7.3	上層路盤	6.20
路肩盛土(W<2.5m)	0.1, 0.1	表層(1.4m≤W)	6.00
畦畔盛土(W<2.5m)	-	上層路盤	0.40, 0.40
土羽土(W<2.5m)	4.3	表層(W<1.4m)	0.50, 0.50
コンクリート取壊し(無筋)	-		
舗装版破砕(As t=5cm)	-		

NO. 10  
GH=174.21  
FH=183.38



項目	数量	項目	数量
片切掘削(土砂)	-	切土部	-
表土削ぎ取り(t=30cm)	14.6	盛土部	9.8, 10.3
路体盛土		切土部	-
W<2.5m	2.3	盛土部	7.7, 9.3
2.5m≤W<4.0m	-	切土部	-
4.0m≤W	180.8	盛土部	10.4
水平排水層(砕石)	0.9	床掘り(土砂)	10.4
基層排水層(砕石)	-	埋戻し(1m未満)	1.0
路床盛土		埋戻し(1m以上4m未満)	-
W<2.5m	-	下層路盤	7.10
4.0m≤W	8.1	上層路盤	7.10
路肩盛土(W<2.5m)	0.1, 0.1	表層(1.4m≤W)	6.90
畦畔盛土(W<2.5m)	-	上層路盤	0.40, 0.40
土羽土(W<2.5m)	2.4, 3.0	表層(W<1.4m)	0.50, 0.50
コンクリート取壊し(無筋)	0.1		
舗装版破砕(As t=5cm)	-		

**留意事項 (報告書参照)**

○補強土壁背面(補強領域)の盛土材料について  
補強土壁背面(補強領域)の盛土材料は、他現場からの発生土を利用する計画としている。  
下記に示す土質条件と異なる場合には、補強土壁の補強材・敷設長等について再度検討すること。  
・土の単位体積重量  $\gamma=19\text{kN/m}^3$   
・せん断抵抗角  $\phi=25^\circ$   
・粘着力  $C=6.2\text{kN/m}^2$

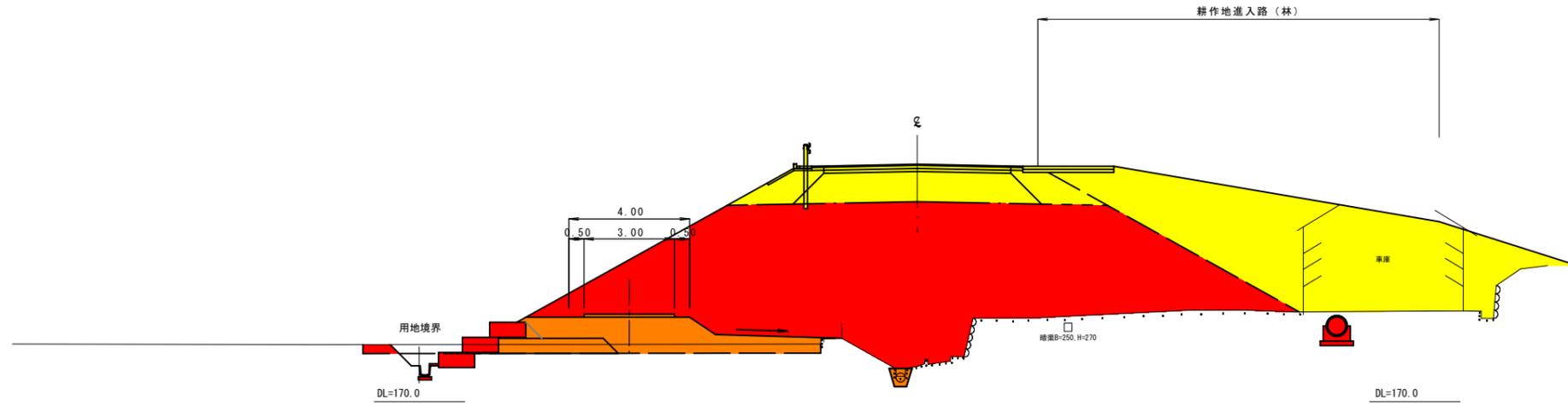
○補強土壁基礎部の確認について  
地層線は、Bor調査(柱状図)から推定したものである。  
本計画では、比較的緩い層(崩積土1)を取り除き「置換砕石工」を計画している。  
必ず、平板載荷試験などにより仮想的な擁壁底面(置換砕石工上面)および置換基礎底面の極限支持力度を確認すること。  
確認する数値(極限支持力度)は当該図面および報告書の「施工上の留意点」に記載している。  
置換深さ(仮想的な擁壁底面から支持層までの深さ)は、Bor調査(柱状図)から推定した地層線により設定したものである。  
置換砕石工の置換深さは、置換深さにより変化するため、必ず崩積土3:dt3(砂礫、玉石混じり土)推定N値=50以上に定着させ、置換範囲を確定すること。  
置換基礎底面の極限支持力度は、置換基礎の深さにより変化する。置換基礎の深さが設計値と異なる場合は、報告書の「施工上の留意点」に記載の「必要地耐力(極限支持力度)一覧表」を参照されたい。

○耕作地進入路について  
現段階の進入路計画は、公園上で各所有者の土地の範囲内で収まる単独進入路の暫定計画により地元協議を行い、了解を得ている。  
よって、境界立念によっては境界位置が異なる場合があり、進入路計画の見直しが必要となる。  
工事着手前には、かならず地元関係者との協議を行うこと。

R6現年 交付金 起工設計  
NO. 10~KA2-2 (NO. 10+13.732)

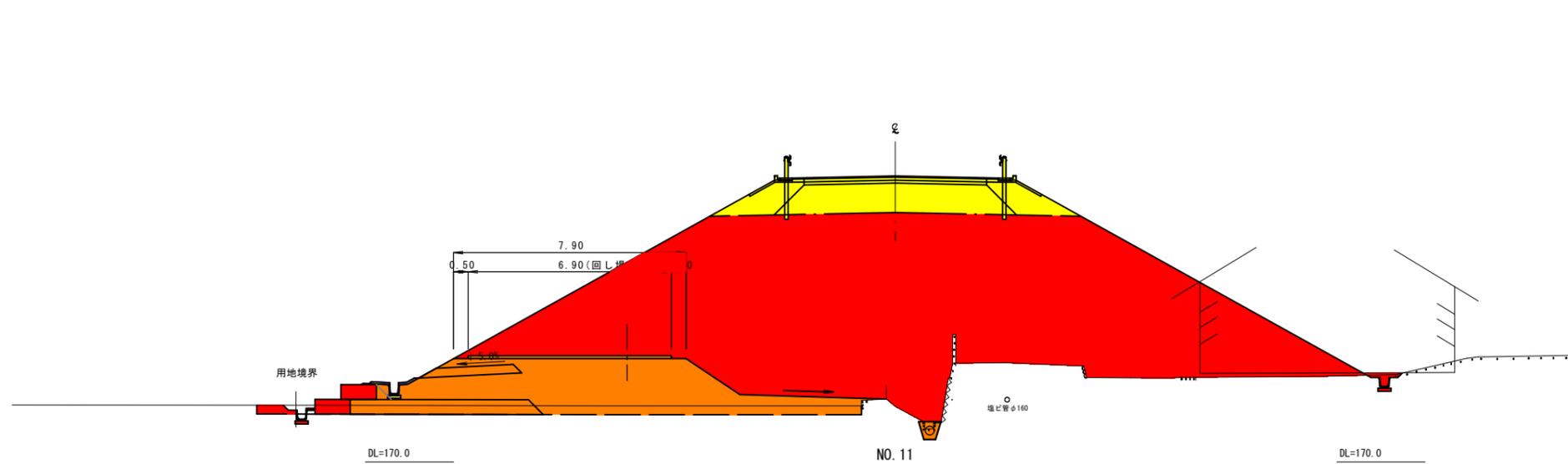
路線名	県道大滝白水線		
県道大滝白水線(大坂工区) 道路災害防除工事(2工区)(防災安全交付金)			
図名	横断面図(7/10)		
位置	西伯郡伯耆町大坂地内		
縮尺	S=1:100	単位	M
図号	全 20 葉中の内 7		
令和 6 年度 施行			
鳥取県西部総合事務所米子県土整備局			

NO. 13  
GH=171.17  
FH=177.87



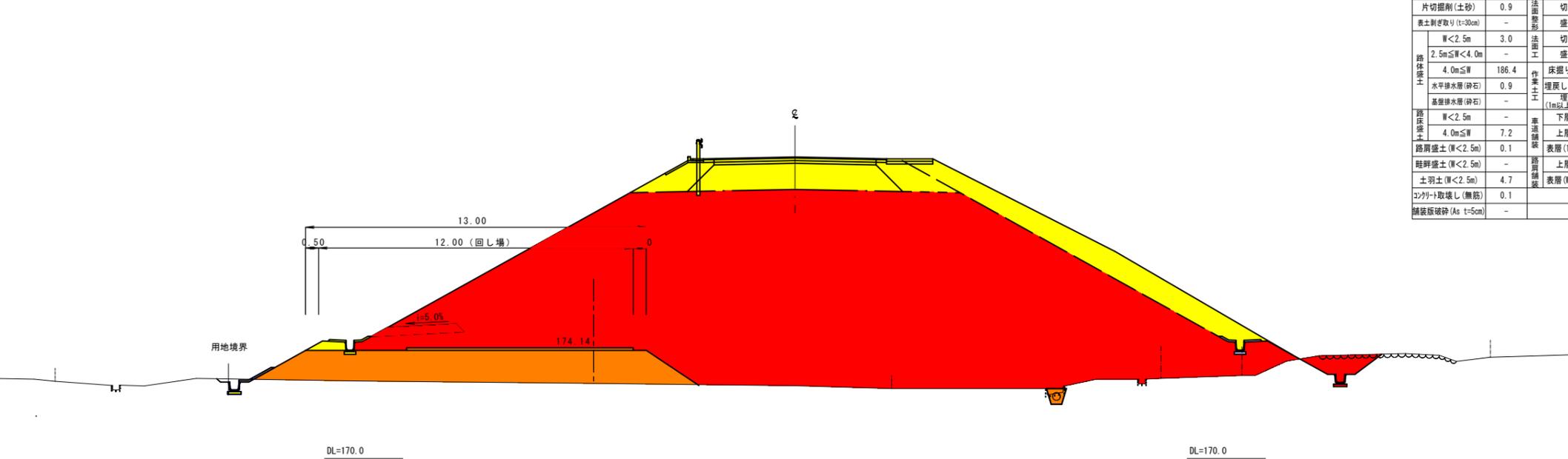
全体				初年度施工分			
項目	数量	項目	数量	項目	数量	項目	数量
片切掘削(土砂)	0.9	切土部	1.3	片切掘削(土砂)	-	切土部	-
表土削ぎ取り(t=30cm)	4.6	盛土部	10.5	表土削ぎ取り(t=30cm)	-	盛土部	-
2.5m≦W<4.0m	3.3	切土部	1.3	2.5m≦W<4.0m	-	切土部	-
4.0m≦W	85.2	盛土部	9.5	4.0m≦W	8.3	盛土部	-
水平排水層(砕石)	-	床掘り(土砂)	0.5, 0.2	水平排水層(砕石)	-	床掘り(土砂)	-
基礎排水層(砕石)	1.9	埋戻し(1m未満)	0.3	基礎排水層(砕石)	-	埋戻し(1m未満)	-
W<2.5m	-	埋戻し(1m以上4m未満)	-	W<2.5m	-	埋戻し(1m以上4m未満)	-
4.0m≦W	7.2	下層路盤	6.20	4.0m≦W	-	下層路盤	-
路肩盛土(W<2.5m)	0.1	上層路盤	6.20	路肩盛土(W<2.5m)	-	上層路盤	-
畦畔盛土(W<2.5m)	0.1	表層(1.4m≦W)	6.00	畦畔盛土(W<2.5m)	-	表層(1.4m≦W)	-
土羽土(W<2.5m)	3.0	表層(W<1.4m)	0.40, 0.40	土羽土(W<2.5m)	-	表層(W<1.4m)	-
コンクリート取壊し(無筋)	0.1	表層(W<1.4m)	0.50, 0.50	コンクリート取壊し(無筋)	-	表層(W<1.4m)	-
舗装版破砕(As t=5cm)	-			舗装版破砕(As t=5cm)	-		

NO. 12  
GH=171.89  
FH=179.71



全体				初年度施工分			
項目	数量	項目	数量	項目	数量	項目	数量
片切掘削(土砂)	0.1	切土部	0.5, 0.2	片切掘削(土砂)	-	切土部	-
表土削ぎ取り(t=30cm)	6.2	盛土部	14.4, 13.8	表土削ぎ取り(t=30cm)	-	盛土部	-
2.5m≦W<4.0m	2.7	切土部	0.2	2.5m≦W<4.0m	-	切土部	-
4.0m≦W	134.7	盛土部	12.2, 12.8	4.0m≦W	19.8	盛土部	-
水平排水層(砕石)	0.9	床掘り(土砂)	0.3, 0.2, 0.5	水平排水層(砕石)	-	床掘り(土砂)	-
基礎排水層(砕石)	3.2	埋戻し(1m未満)	0.2, 0.3	基礎排水層(砕石)	-	埋戻し(1m未満)	-
W<2.5m	-	埋戻し(1m以上4m未満)	-	W<2.5m	-	埋戻し(1m以上4m未満)	-
4.0m≦W	7.2	下層路盤	6.20	4.0m≦W	-	下層路盤	-
路肩盛土(W<2.5m)	0.1, 0.1	上層路盤	6.20	路肩盛土(W<2.5m)	-	上層路盤	-
畦畔盛土(W<2.5m)	0.1	表層(1.4m≦W)	6.00	畦畔盛土(W<2.5m)	-	表層(1.4m≦W)	-
土羽土(W<2.5m)	3.8, 4.0	表層(W<1.4m)	0.40, 0.40	土羽土(W<2.5m)	-	表層(W<1.4m)	-
コンクリート取壊し(無筋)	0.1	表層(W<1.4m)	0.50, 0.50	コンクリート取壊し(無筋)	-	表層(W<1.4m)	-
舗装版破砕(As t=5cm)	-			舗装版破砕(As t=5cm)	-		

NO. 11  
GH=172.79  
FH=181.54



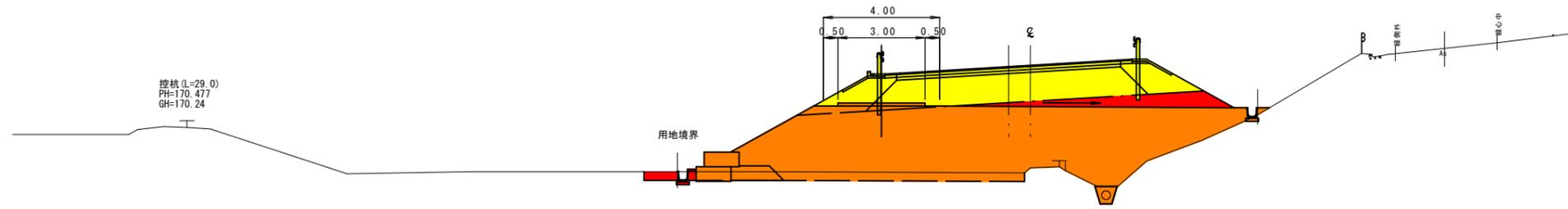
全体				初年度施工分			
項目	数量	項目	数量	項目	数量	項目	数量
片切掘削(土砂)	0.9	切土部	0.4, 2.5	片切掘削(土砂)	-	切土部	-
表土削ぎ取り(t=30cm)	-	盛土部	17.3	表土削ぎ取り(t=30cm)	-	盛土部	-
2.5m≦W<4.0m	3.0	切土部	1.2, 1.3	2.5m≦W<4.0m	-	切土部	-
4.0m≦W	186.4	盛土部	14.2	4.0m≦W	18.2	盛土部	-
水平排水層(砕石)	0.9	床掘り(土砂)	0.5, 0.2, 0.5	水平排水層(砕石)	-	床掘り(土砂)	-
基礎排水層(砕石)	-	埋戻し(1m未満)	0.3, 0.3	基礎排水層(砕石)	-	埋戻し(1m未満)	-
W<2.5m	-	埋戻し(1m以上4m未満)	-	W<2.5m	-	埋戻し(1m以上4m未満)	-
4.0m≦W	7.2	下層路盤	6.20	4.0m≦W	-	下層路盤	-
路肩盛土(W<2.5m)	0.1	上層路盤	6.20	路肩盛土(W<2.5m)	-	上層路盤	-
畦畔盛土(W<2.5m)	-	表層(1.4m≦W)	6.00	畦畔盛土(W<2.5m)	-	表層(1.4m≦W)	-
土羽土(W<2.5m)	4.7	表層(W<1.4m)	0.40, 0.40	土羽土(W<2.5m)	-	表層(W<1.4m)	-
コンクリート取壊し(無筋)	0.1	表層(W<1.4m)	0.50, 0.50	コンクリート取壊し(無筋)	-	表層(W<1.4m)	-
舗装版破砕(As t=5cm)	-			舗装版破砕(As t=5cm)	-		

R6現年\_交付金\_起工設計  
NO. 11~NO. 13

路線名	県道大滝白水線
県道大滝白水線(大坂工区)道路災害防除工事(2工区)(防災安全交付金)	
図名	工程-1 横断面図(8/10)
位置	西伯郡伯耆町大坂地内
縮尺	S=1:100 単位 M
図号	全 20 葉中の内 8
令和 6 年度 施行	
鳥取県西部総合事務所米子県土整備局	

A3版で出力する場合の縮尺は表示の50%とする

NO. 16  
GH=168.85  
FH=172.38

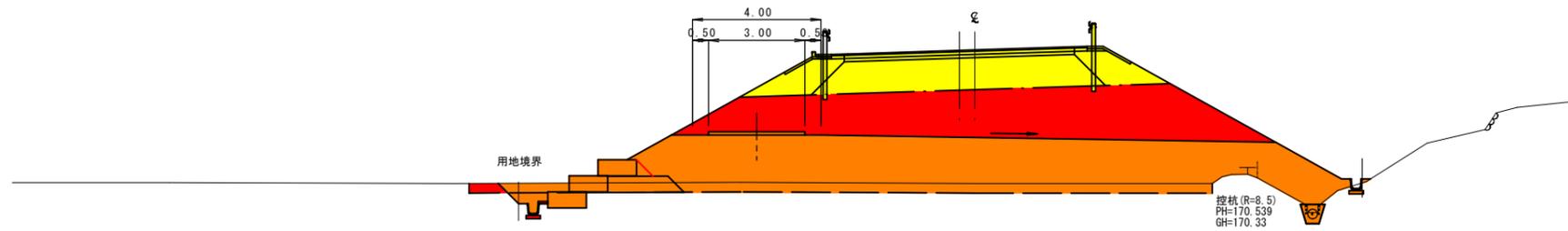


全体				初年度施工分			
項目	数量	項目	数量	項目	数量	項目	数量
片切掘削(土砂)	-	切土部	-	片切掘削(土砂)	-	切土部	-
表土剥ぎ取り(t=30cm)	3.9	盛土部	5.7, 3.4	表土剥ぎ取り(t=30cm)	-	盛土部	-
W<2.5m	2.8	切土部	-	W<2.5m	-	切土部	-
2.5m≦W<4.0m	-	盛土部	4.4, 2.4	2.5m≦W<4.0m	-	盛土部	-
4.0m≦W	37.6	床掘り(土砂)	0.2, 0.4, 0.1	4.0m≦W	37.1	床掘り(土砂)	-
水平排水層(砕石)	-	埋戻し(1m未満)	0.1, 0.1	水平排水層(砕石)	-	埋戻し(1m未満)	-
基盤排水層(砕石)	0.8	埋戻し(1m以上4m未満)	-	基盤排水層(砕石)	-	埋戻し(1m以上4m未満)	-
W<2.5m	-	下層路盤	7.70	W<2.5m	-	下層路盤	-
4.0m≦W	8.7	上層路盤	7.70	4.0m≦W	-	上層路盤	-
路肩盛土(W<2.5m)	0.1, 0.1	表層(1.4m≦W)	7.50	路肩盛土(W<2.5m)	-	表層(1.4m≦W)	-
畦畔盛土(W<2.5m)	0.1	上層路盤	0.40, 0.40	畦畔盛土(W<2.5m)	-	上層路盤	-
土羽土(W<2.5m)	1.5, 0.9	表層(W<1.4m)	0.50, 0.50	土羽土(W<2.5m)	-	表層(W<1.4m)	-
コンクリート取壊し(無筋)	-			コンクリート取壊し(無筋)	-		
舗装破砕(As t=5cm)	-			舗装破砕(As t=5cm)	-		

DL=165.0

DL=165.0

NO. 15  
GH=170.04  
FH=174.20

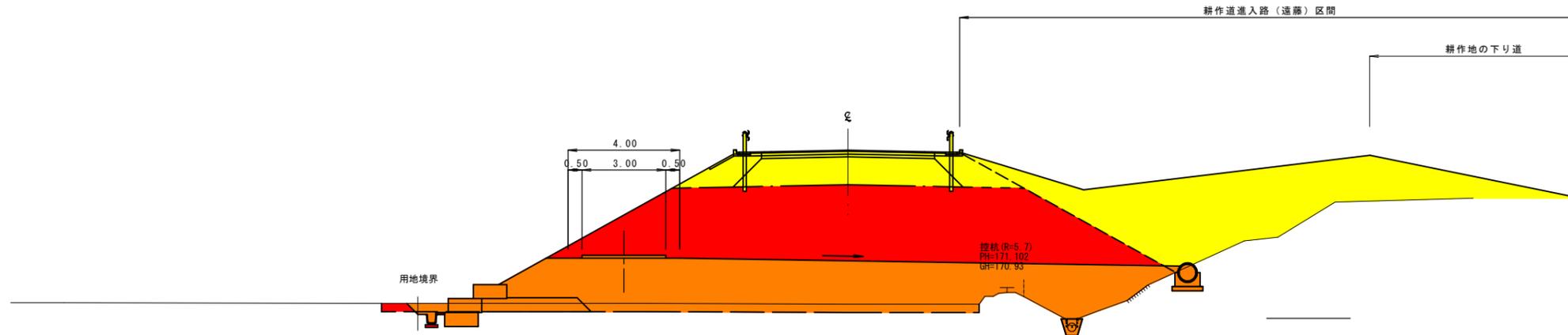


全体				初年度施工分			
項目	数量	項目	数量	項目	数量	項目	数量
片切掘削(土砂)	0.8	切土部	1.2	片切掘削(土砂)	-	切土部	-
表土剥ぎ取り(t=30cm)	6.9	盛土部	6.6, 8.5	表土剥ぎ取り(t=30cm)	-	盛土部	-
W<2.5m	3.8	切土部	-	W<2.5m	-	切土部	-
2.5m≦W<4.0m	0.5	盛土部	5.6, 7.5	2.5m≦W<4.0m	-	盛土部	-
4.0m≦W	53.9	床掘り(土砂)	0.6, 0.2, 0.3	4.0m≦W	35.2	床掘り(土砂)	-
水平排水層(砕石)	-	埋戻し(1m未満)	0.3, 0.2	水平排水層(砕石)	-	埋戻し(1m未満)	-
基盤排水層(砕石)	1.1	埋戻し(1m以上4m未満)	-	基盤排水層(砕石)	-	埋戻し(1m以上4m未満)	-
W<2.5m	-	下層路盤	7.17	W<2.5m	-	下層路盤	-
4.0m≦W	8.2	上層路盤	7.17	4.0m≦W	-	上層路盤	-
路肩盛土(W<2.5m)	0.1, 0.1	表層(1.4m≦W)	6.97	路肩盛土(W<2.5m)	-	表層(1.4m≦W)	-
畦畔盛土(W<2.5m)	0.1	上層路盤	0.40, 0.40	畦畔盛土(W<2.5m)	-	上層路盤	-
土羽土(W<2.5m)	1.9, 2.4	表層(W<1.4m)	0.50, 0.50	土羽土(W<2.5m)	-	表層(W<1.4m)	-
コンクリート取壊し(無筋)	0.1			コンクリート取壊し(無筋)	-		
舗装破砕(As t=5cm)	-			舗装破砕(As t=5cm)	-		

DL=165.0

DL=165.0

NO. 14  
GH=170.51  
FH=176.03



全体				初年度施工分			
項目	数量	項目	数量	項目	数量	項目	数量
片切掘削(土砂)	0.2	切土部	0.8	片切掘削(土砂)	-	切土部	-
表土剥ぎ取り(t=30cm)	6.4	盛土部	9.6	表土剥ぎ取り(t=30cm)	-	盛土部	-
W<2.5m	3.4	切土部	-	W<2.5m	-	切土部	-
2.5m≦W<4.0m	-	盛土部	8.6	2.5m≦W<4.0m	-	盛土部	-
4.0m≦W	82.8	床掘り(土砂)	1.0, 0.2	4.0m≦W	39.3	床掘り(土砂)	-
水平排水層(砕石)	-	埋戻し(1m未満)	0.3	水平排水層(砕石)	-	埋戻し(1m未満)	-
基盤排水層(砕石)	1.8	埋戻し(1m以上4m未満)	-	基盤排水層(砕石)	-	埋戻し(1m以上4m未満)	-
W<2.5m	-	下層路盤	6.20	W<2.5m	-	下層路盤	-
4.0m≦W	7.2	上層路盤	6.20	4.0m≦W	-	上層路盤	-
路肩盛土(W<2.5m)	0.1, 0.1	表層(1.4m≦W)	6.00	路肩盛土(W<2.5m)	-	表層(1.4m≦W)	-
畦畔盛土(W<2.5m)	0.1	上層路盤	0.40, 0.40	畦畔盛土(W<2.5m)	-	上層路盤	-
土羽土(W<2.5m)	2.8	表層(W<1.4m)	0.50, 0.50	土羽土(W<2.5m)	-	表層(W<1.4m)	-
コンクリート取壊し(無筋)	0.1			コンクリート取壊し(無筋)	-		
舗装破砕(As t=5cm)	-			舗装破砕(As t=5cm)	-		

DL=165.0

DL=165.0

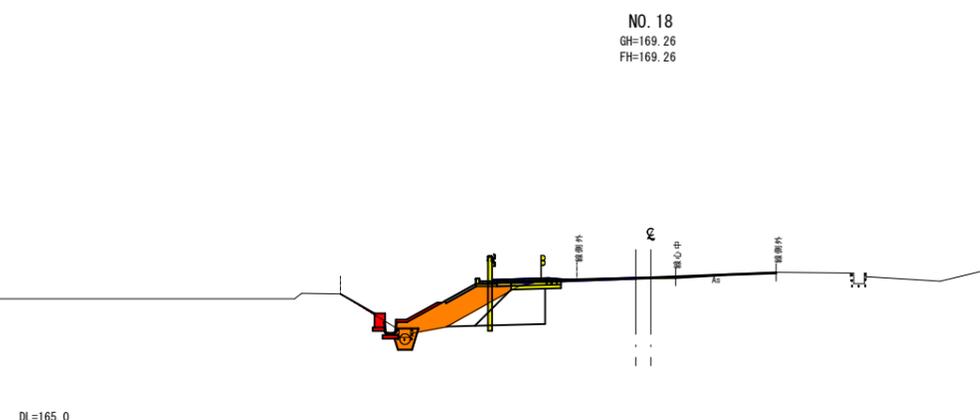
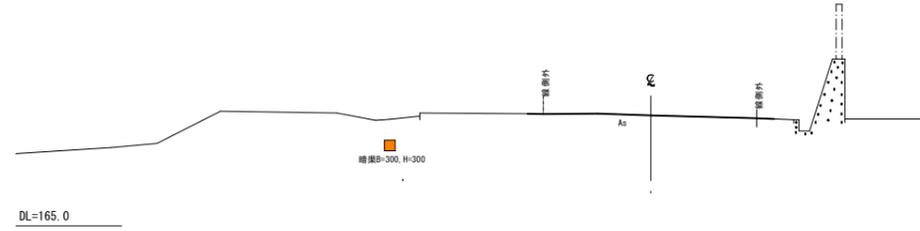
留意事項  
耕作道進入路(遠藤、林、馬西)について  
現段階の進入路計画は、公園上で各所有者が所有する土地の範囲内で納まる暫定進入路計画であり、一旦は地元で了解を得ている。よって、境界立会によっては境界位置が異なる場合があり、進入路計画の見直しが必要となる。工事着手前には、かならず地元関係者との協議を行うこと。

R6現年 交付金 起工設計  
NO. 14~NO. 16

路線名	県道大滝白水線
県道大滝白水線(大坂工区) 道路災害防除工事(2工区) (防災安全交付金)	
図名	工程-1 横断面図(9/10)
位置	西伯郡伯耆町大坂地内
縮尺	S=1:100 単位 M
図号	全 20 葉中の内 09
令和 6 年度 施行	
鳥取県西部総合事務所米子県土整備局	

A3版で出力する場合の縮尺は表示の50%とする

KA 3-2 (NO. 18+15.628)  
GH=168.13  
FH=168.13

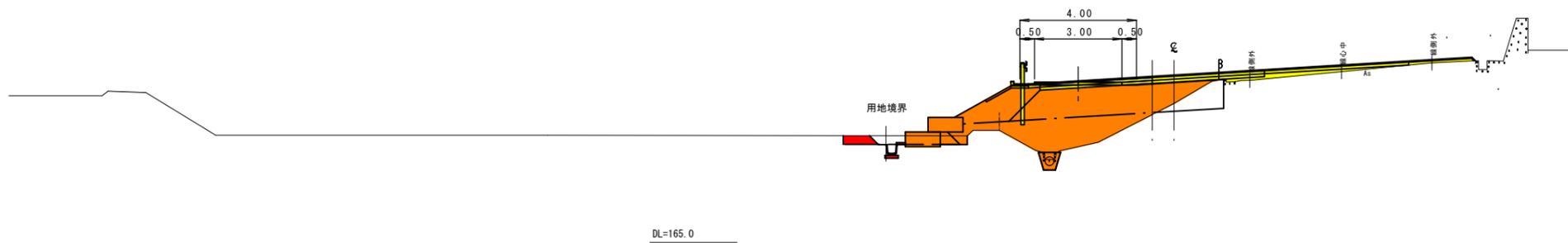


NO. 18  
GH=169.26  
FH=169.26

全体				初年度施工分			
項目	数量	項目	数量	項目	数量	項目	数量
片切掘削(土砂)	2.0	切土部	1.1	片切掘削(土砂)	-	切土部	-
表土剥ぎ取り(t=30cm)	-	盛土部	2.2	表土剥ぎ取り(t=30cm)	-	盛土部	-
路体盛土	W<2.5m	切土部	1.1	路体盛土	W<2.5m	切土部	-
	2.5m≤W<4.0m	盛土部	0.1		2.5m≤W<4.0m	-	盛土部
4.0m≤W	-	床掘り(土砂)	0.5, 0.2	4.0m≤W	1.8	床掘り(土砂)	-
水平排水層(砕石)	-	埋戻し(1m未満)	0.3	水平排水層(砕石)	-	埋戻し(1m未満)	-
基礎排水層(砕石)	-	埋戻し(1m以上4m未満)	-	基礎排水層(砕石)	-	埋戻し(1m以上4m未満)	-
路床盛土	W<2.5m	下層路盤	1.41	路床盛土	W<2.5m	下層路盤	-
	4.0m≤W	上層路盤	1.41		4.0m≤W	-	上層路盤
路肩盛土(W<2.5m)	0.1	表層(1.4m≤W)	7.41	路肩盛土(W<2.5m)	-	表層(1.4m≤W)	-
畦畔盛土(W<2.5m)	-	上層路盤	0.40	畦畔盛土(W<2.5m)	-	上層路盤	-
土羽土(W<2.5m)	0.6	表層(W<1.4m)	0.50	土羽土(W<2.5m)	-	表層(W<1.4m)	-
コンクリート取壊し(無筋)	0.1, 0.1			コンクリート取壊し(無筋)	-		
舗装版破砕(As t=5cm)	-			舗装版破砕(As t=5cm)	-		

全体				初年度施工分			
項目	数量	項目	数量	項目	数量	項目	数量
片切掘削(土砂)	1.3	切土部	0.7	片切掘削(土砂)	-	切土部	-
表土剥ぎ取り(t=30cm)	1.3	盛土部	2.2	表土剥ぎ取り(t=30cm)	-	盛土部	-
路体盛土	W<2.5m	切土部	-	路体盛土	W<2.5m	切土部	-
	2.5m≤W<4.0m	盛土部	1.2		2.5m≤W<4.0m	-	盛土部
4.0m≤W	5.1	床掘り(土砂)	0.6, 0.2	4.0m≤W	12.7	床掘り(土砂)	-
水平排水層(砕石)	-	埋戻し(1m未満)	0.3	水平排水層(砕石)	-	埋戻し(1m未満)	-
基礎排水層(砕石)	0.2	埋戻し(1m以上4m未満)	-	基礎排水層(砕石)	-	埋戻し(1m以上4m未満)	-
路床盛土	W<2.5m	下層路盤	7.70	路床盛土	W<2.5m	下層路盤	-
	4.0m≤W	上層路盤	7.70		4.0m≤W	-	上層路盤
路肩盛土(W<2.5m)	0.1	表層(1.4m≤W)	7.50	路肩盛土(W<2.5m)	-	表層(1.4m≤W)	-
畦畔盛土(W<2.5m)	0.1	上層路盤	0.40, 0.40	畦畔盛土(W<2.5m)	-	上層路盤	-
土羽土(W<2.5m)	0.6	表層(W<1.4m)	0.50, 0.50	土羽土(W<2.5m)	-	表層(W<1.4m)	-
コンクリート取壊し(無筋)	0.1			コンクリート取壊し(無筋)	-		
舗装版破砕(As t=5cm)	-			舗装版破砕(As t=5cm)	-		

NO. 17  
GH=169.77  
FH=170.74



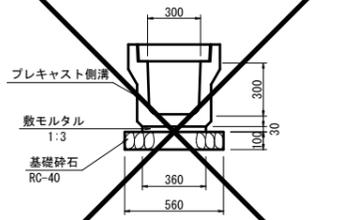
R6現年 交付金 起工設計  
NO. 17~KA3-2 (NO. 18+15.628)

路線名	県道大滝白水線		
位置	県道大滝白水線(大坂工区) 道路災害防除工事(2工区) (防災安全交付金)		
図名	工程-1 横断面図(10/10)		
位置	西伯郡伯耆町大坂地内		
縮尺	S=1:100	単位	M
図号	全 20 葉中の内 10		
令和 6 年度 施行			
鳥取県西部総合事務所米子県土整備局			

A3版で出力する場合の縮尺は表示の50%とする

# 小構造物図(1/9)

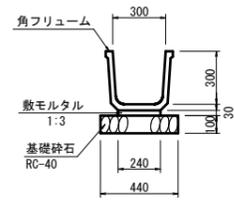
プレキャスト落とし式U型側溝 S=1:20  
3種 PU5 300A



プレキャスト落とし式U型側溝(3種 PU5 300A) 10m当たり

名称	規格	単位	数量
プレキャスト側溝	3種 300A, L=2.0m	個	5.0
基礎砕石	RC-40 t=10cm	m <sup>2</sup>	5.600
敷モルタル	1:3	m <sup>3</sup>	0.108
側溝蓋	3種 PUC5 300	枚	20.0

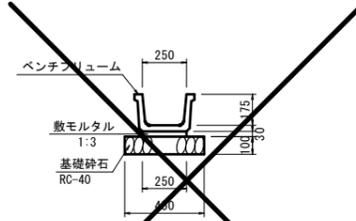
フリューム S=1:20  
FS 300



フリューム(FS 300) 10m当たり

名称	規格	単位	数量
角フリューム	呼称300, L=2.0m	個	5.0
基礎砕石	RC-40, t=10cm	m <sup>2</sup>	4.400
敷モルタル	1:3	m <sup>3</sup>	0.072

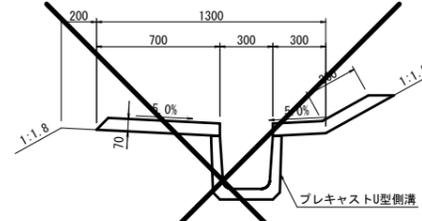
フリューム S=1:20  
FB 250



フリューム(FB 250) 10m当たり

名称	規格	単位	数量
ベンチフリューム	呼称250, L=2.0m	個	5.0
基礎砕石	RC-40, t=10cm	m <sup>2</sup>	4.500
敷モルタル	1:3	m <sup>3</sup>	0.075

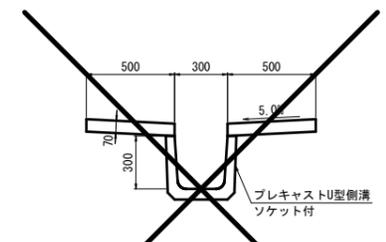
小段排水工 S=1:20  
BD2



小段排水工(BD2) 10m当たり

名称	規格	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m <sup>3</sup>	0.910
目地材	t=10mm	m <sup>2</sup>	0.091
プレキャストU型側溝	B300×H300	m	10.0

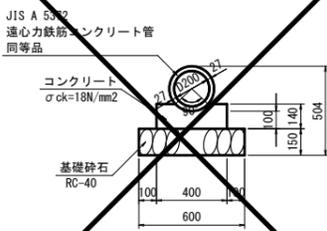
道路用縦排水路 S=1:20  
VDR-1



道路用縦排水路(VDR-1) 10m当たり

名称	規格	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m <sup>3</sup>	0.140
型枠	小型構造物	m <sup>2</sup>	2.800
目地材	t=10mm	m <sup>2</sup>	0.070
プレキャストU型側溝	1種 PU1 300B ソケット付	m	10.0

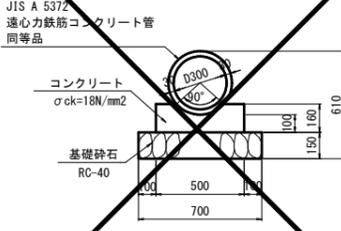
パイプカルバート S=1:20  
CP1-RC-D200



パイプカルバート(CP1-RC-D200) 10m当たり

名称	規格	単位	数量
RC管	B形管 1種D200, L=2.0m	本	5.0
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m <sup>3</sup>	0.509
型枠	小型構造物	m <sup>2</sup>	2.800
基礎砕石	RC-40 t=15cm	m <sup>2</sup>	6.000

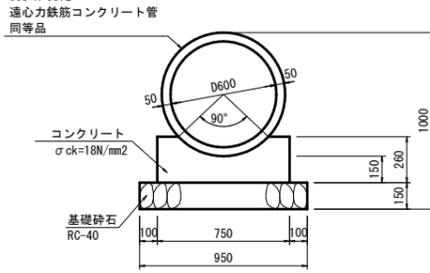
パイプカルバート S=1:20  
CP1-RC-D300



パイプカルバート(CP1-RC-D300) 10m当たり

名称	規格	単位	数量
RC管	B形管 1種D300, L=2.0m	本	5.0
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m <sup>3</sup>	0.688
型枠	小型構造物	m <sup>2</sup>	3.200
基礎砕石	RC-40 t=15cm	m <sup>2</sup>	7.000

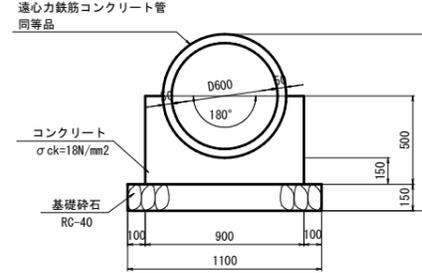
パイプカルバート S=1:20  
CP1-RC-D600



パイプカルバート(CP1-RC-D600) 10m当たり

名称	規格	単位	数量
RC管	B形管 1種D600, L=2.43m	本	4.1
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m <sup>3</sup>	1.563
型枠	小型構造物	m <sup>2</sup>	5.200
基礎砕石	RC-40 t=15cm	m <sup>2</sup>	9.500

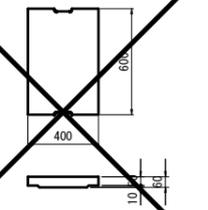
パイプカルバート S=1:20  
CP2-RC-D600



パイプカルバート(CP2-RC-D600) 10m当たり

名称	規格	単位	数量
RC管	B形管 2種D600, L=2.43m	本	4.1
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m <sup>3</sup>	2.576
型枠	小型構造物	m <sup>2</sup>	10.000
基礎砕石	RC-40 t=15cm	m <sup>2</sup>	11.000

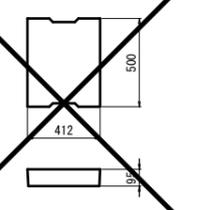
側溝蓋 S=1:20  
1種 PUC2 300



側溝蓋(1種 PUC2 300) 10m当たり

名称	規格	単位	数量
側溝蓋	1種 PUC2 300	個	16.5

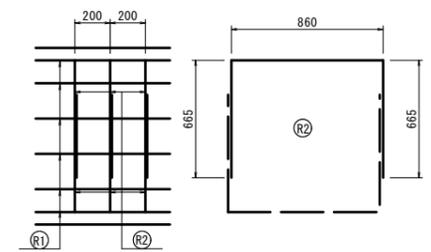
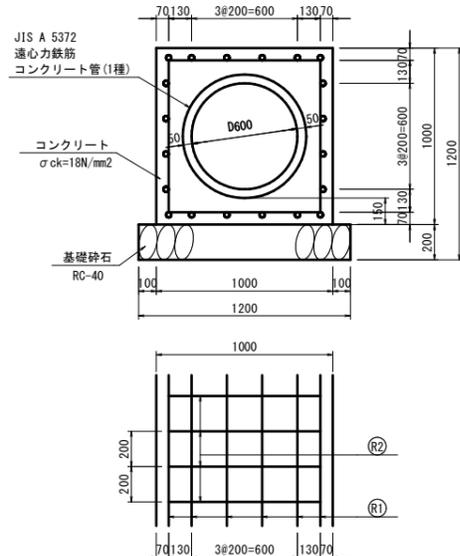
側溝蓋 S=1:20  
3種 PUC5 300



側溝蓋(3種 PUC5 300) 10m当たり

名称	規格	単位	数量
側溝蓋	3種 PUC5 300	個	20.0

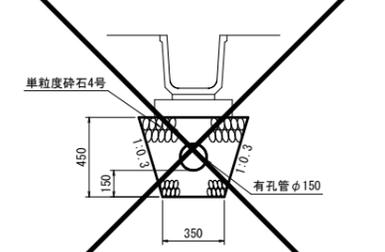
パイプカルバート S=1:20  
CP4-D600



パイプカルバート(CP4-D600) 10m当たり

名称	規格	単位	数量
RC管	B形管 1種D600, L=2.43m	本	4.1
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m <sup>3</sup>	6.152
型枠	小型構造物	m <sup>2</sup>	20.000
基礎砕石	RC-40 t=20cm	m <sup>2</sup>	12.000
鉄筋	SD345 D13	kg	416.910

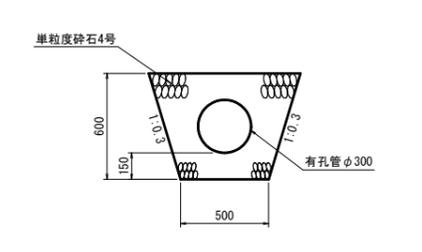
1号地下排水溝 S=1:20  
UD-C-D150



1号地下排水溝(UD-C-D150) 10m当たり

名称	規格	単位	数量
フィルター材	単粒度砕石4号	m <sup>3</sup>	2.006
有孔管	高密度ポリエチレン管 D150	m	10.0

2号地下排水溝 S=1:20  
UD-C-D300



2号地下排水溝(UD-C-D300) 10m当たり

名称	規格	単位	数量
フィルター材	単粒度砕石4号	m <sup>3</sup>	3.373
有孔管	高密度ポリエチレン管 D300	m	10.0

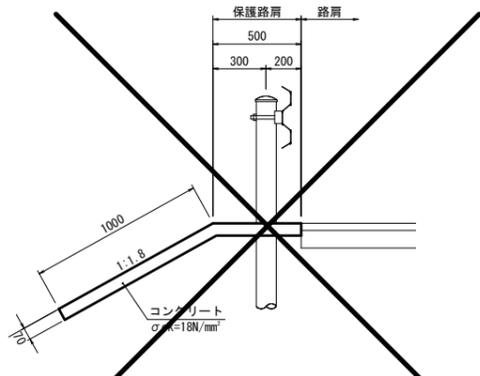
R6現年\_交付金\_起工設計

路線名	県道大滝白水線
県道大滝白水線(大坂工区)道路災害防除工事(2工区)(防災安全交付金)	
図名	小構造物図(1/9)
位置	西伯郡伯耆町大坂地内
縮尺	図示 単位 MM
図号	全 20 葉中の内 11
令和 6 年度 施行	
鳥取県西部総合事務所米子県土整備局	

A3版で出力する場合の縮尺は表示の50%とする

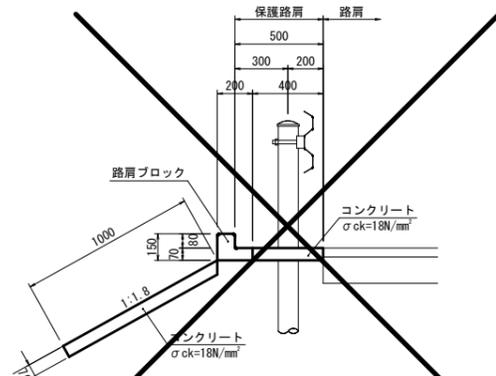
# 小構造物図(2/9)

路肩保護コンクリート S=1:20  
PS1



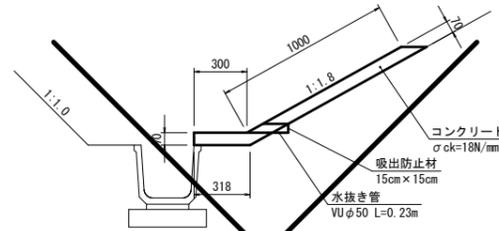
名称	規格	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m <sup>3</sup>	1.050
型枠	小型構造物	m <sup>2</sup>	0.700
目地材	t=10mm	m <sup>2</sup>	0.263

水路兼用路肩保護コンクリート S=1:20  
WP1



名称	規格	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m <sup>3</sup>	0.980
型枠	小型構造物	m <sup>2</sup>	0.700
路肩ブロック	L=495	個	20.0
目地材	t=10mm	m <sup>2</sup>	0.245

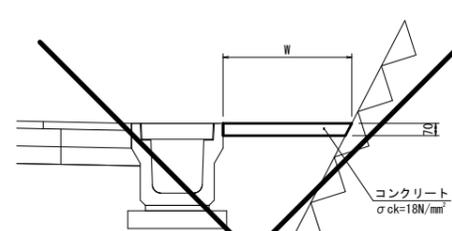
防草コンクリート S=1:20



留意事項  
 ・水抜き管は、2.0m<sup>2</sup>~3.0m<sup>2</sup>に1箇所割合で配置する。  
 よって、10m当たり5本を配置する。  
 ・設置位置については、事前に地元関係者と確認すること。

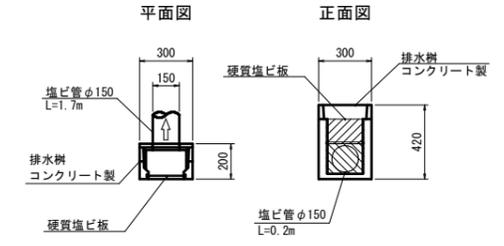
名称	規格	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m <sup>3</sup>	0.967
型枠	小型構造物	m <sup>2</sup>	0.700
目地材	t=10mm	m <sup>2</sup>	0.242
水抜き管	VUφ50 L=0.23m	m	1.150
吸出防止材	15cm×15cm	m <sup>2</sup>	0.113

1号張りコンクリート S=1:20



名称	規格	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$ t=7cm	m <sup>3</sup>	7.000

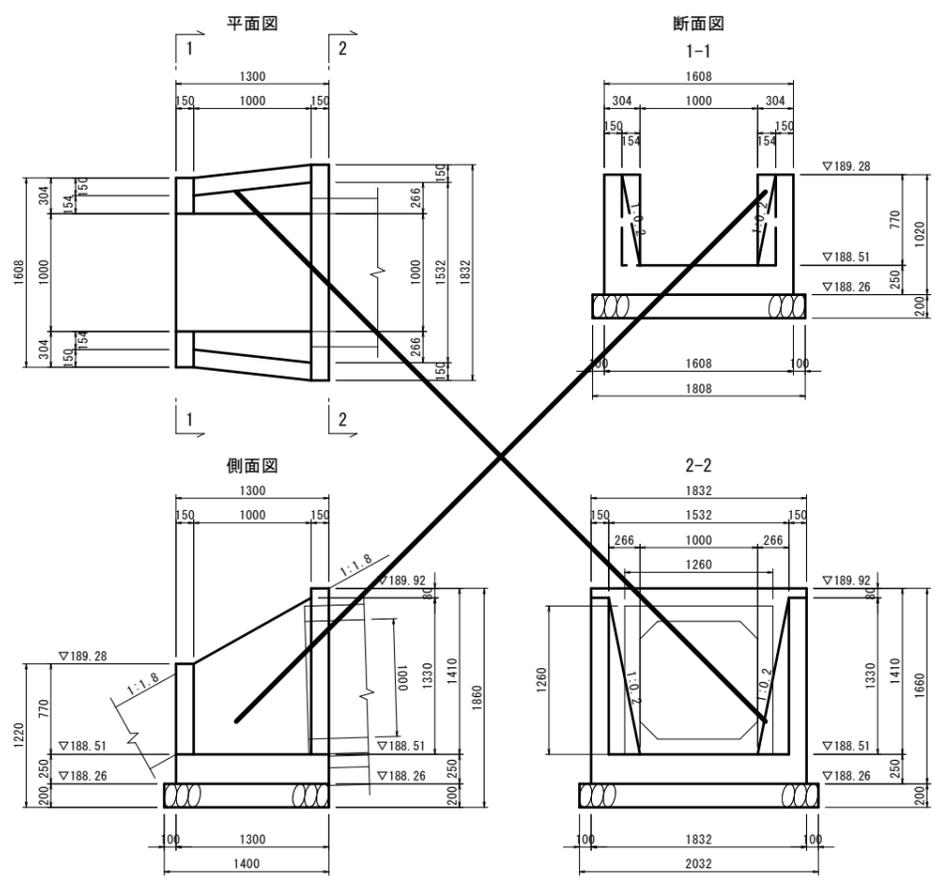
落水工 S=1:20



留意事項  
 事前に落水工の設置位置について地元確認を行うこと。

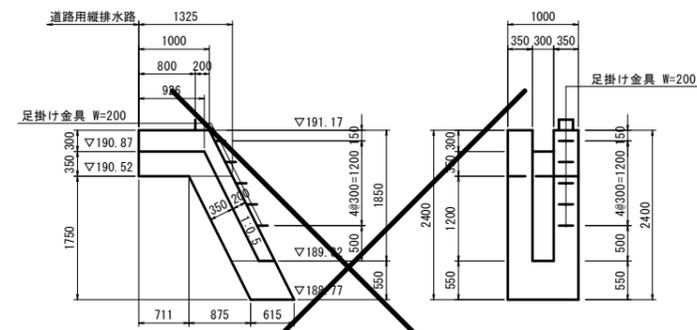
名称	規格	単位	数量
排水樹	コンクリート製	個	1
硬質塩ビ板		組	1
塩ビ管	φ150	m	1.700

吐口工 S=1:30



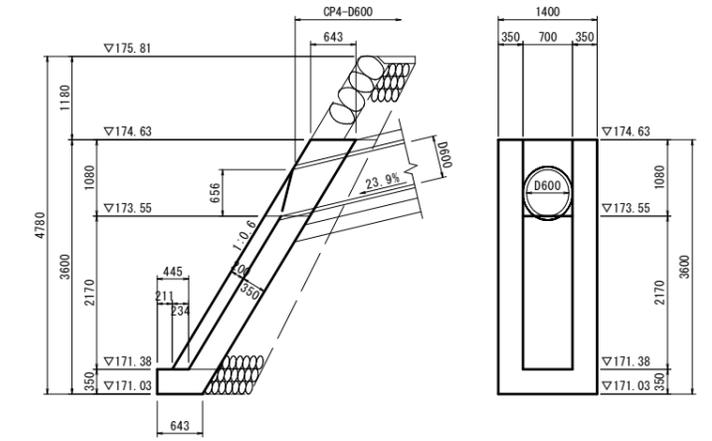
名称	規格	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m <sup>3</sup>	1.567
型枠	小型構造物	m <sup>2</sup>	13.504
基礎砕石	RC-40, t=20cm	m <sup>2</sup>	2.688

1号縦排水路 S=1:50  
VD2 B300-h300



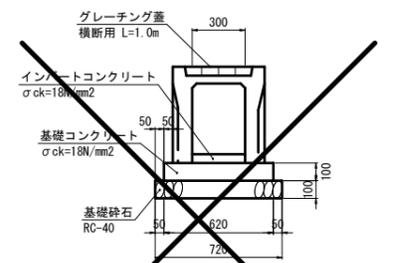
名称	規格	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m <sup>3</sup>	1.630
型枠	小型構造物	m <sup>2</sup>	7.856
足掛け金具	W=200	本	6

2号縦排水路 S=1:50



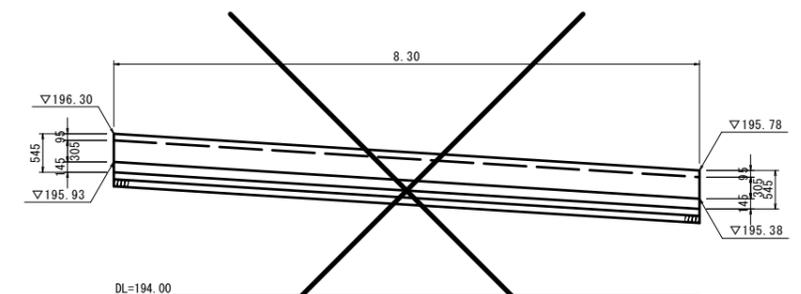
名称	規格	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m <sup>3</sup>	2.641
型枠	小型構造物	m <sup>2</sup>	14.679

横断用自由勾配側溝 S=1:20  
FSC B300-H400



名称	規格	単位	数量
自由勾配側溝	横断用 B300-H400	本	5.0
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m <sup>3</sup>	0.620
型枠		m <sup>2</sup>	2.000
基礎砕石	RC-40 t=10cm	m <sup>2</sup>	7.200
グレーチング蓋	B300 横断用	枚	5

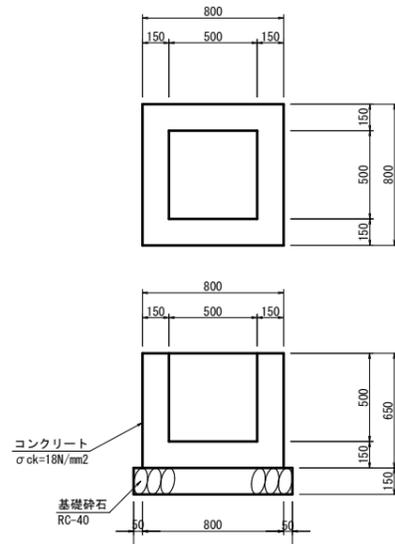
横断用自由勾配側溝展開図 S=1:50



R6現年_交付金_起工設計	
路線名	県道大滝白水線
位置	県道大滝白水線(大坂工区) 道路災害防除工事(2工区) (防災安全交付金)
図名	小構造物図(2/9)
位置	西伯郡伯耆町大坂地内
縮尺	図示 単位 M, MM
図号	全 20 葉中の内 12
令和 6 年度 施行	
鳥取県西部総合事務所米子県土整備局	

# 小構造物図(3/9)

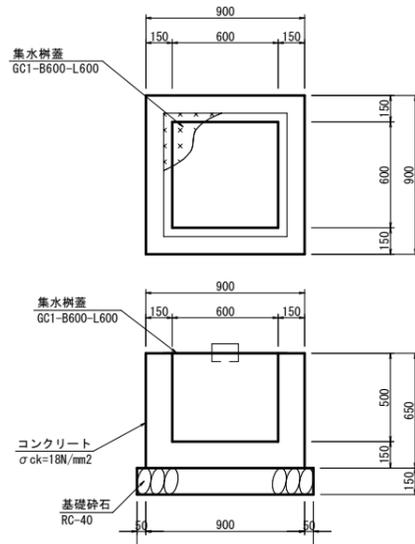
1号集水樹 S=1:20  
G-B500-L500-H500



※計画高及び開口の形状・方向は、平面図及び用排水系統図を参照すること。

1号集水樹 (G-B500-L500-H500)		1箇所当たり	
名称	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.291
型枠	小型構造物	m2	3.380
基礎砕石	RC-40 t=15cm	m2	0.810

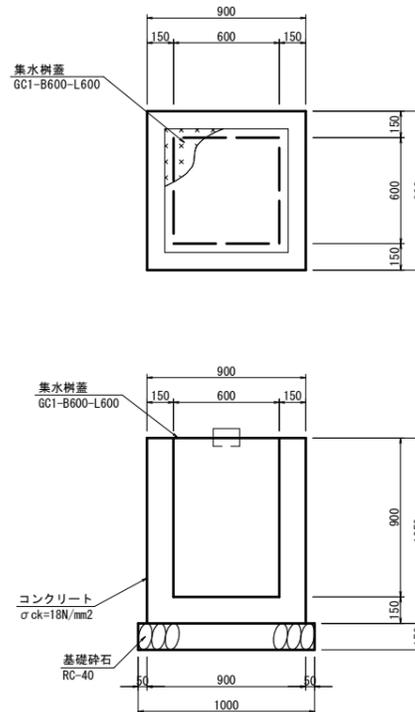
2号集水樹 S=1:20  
G-B600-L600-H500



※計画高及び開口の形状・方向は、平面図及び用排水系統図を参照すること。

2号集水樹 (G-B600-L600-H500)		1箇所当たり	
名称	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.347
型枠	小型構造物	m2	3.900
基礎砕石	RC-40 t=15cm	m2	1.000
集水樹蓋	GC1-B600-L600	枚	1

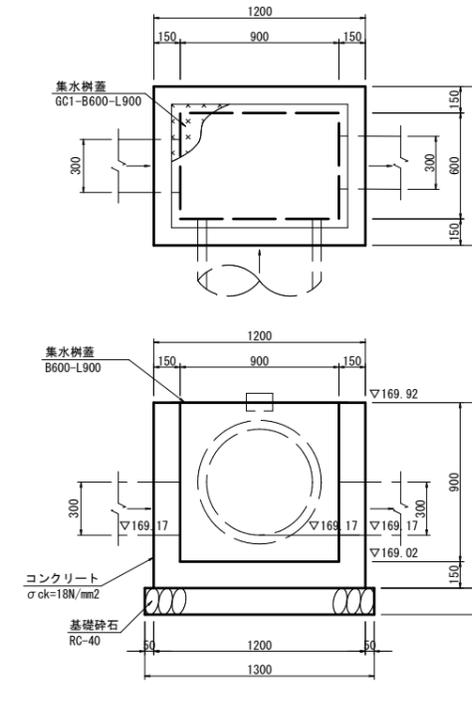
3号集水樹 S=1:20  
G-B600-L600-H900



※計画高及び開口の形状・方向は、平面図及び用排水系統図を参照すること。

3号集水樹 (G-B600-L600-H900)		1箇所当たり	
名称	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.527
型枠	小型構造物	m2	6.300
基礎砕石	RC-40 t=15cm	m2	1.000
集水樹蓋	GC1-B600-L600	枚	1

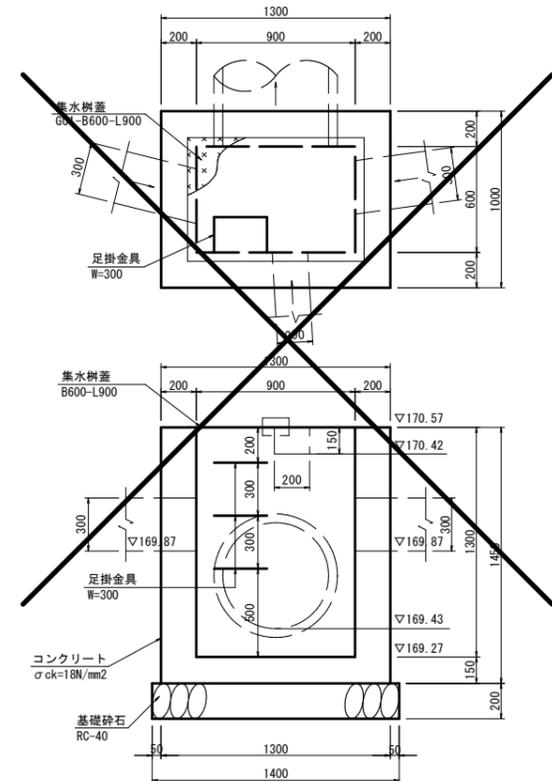
4号集水樹 S=1:20  
G-B600-L900-H900



※計画高及び開口の形状・方向は、平面図及び用排水系統図を参照すること。

4号集水樹 (G-B600-L900-H900)		1箇所当たり	
名称	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.590
型枠	小型構造物	m2	7.560
基礎砕石	RC-40 t=15cm	m2	1.300
集水樹蓋	GC1-B600-L900	枚	1

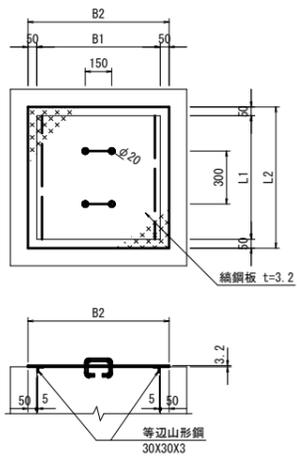
5号集水樹 S=1:20  
G-B600-L900-H1300



※計画高及び開口の形状・方向は、平面図及び用排水系統図を参照すること。

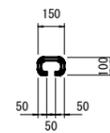
5号集水樹 (G-B600-L900-H1300)		1箇所当たり	
名称	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	1.106
型枠	小型構造物	m2	11.020
基礎砕石	RC-40 t=20cm	m2	1.540
足掛け金具	W=300	本	3
集水樹蓋	GC1-B600-L900	枚	1

集水樹蓋 S=1:20  
GC1-B600-L600~B900-L900



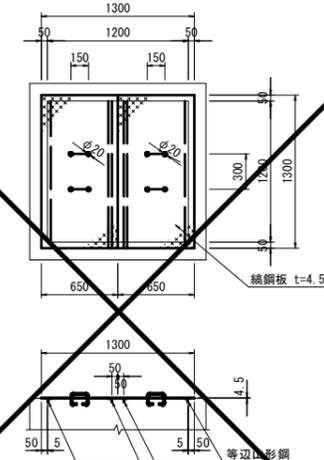
名称	B1	L1	B2	L2
GC1-B600-L600	600	600	700	700
GC1-B700-L700	700	700	800	800
GC1-B800-L800	800	800	900	900
GC1-B900-L900	900	900	1000	1000
GC1-B600-L900	600	900	700	1000

取手金具



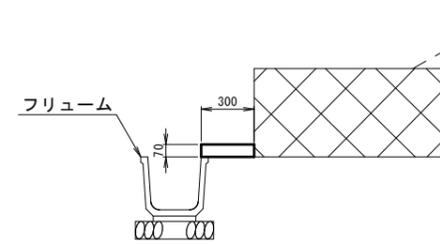
集水樹蓋 (GC1-B600-L600~B900-L900)		1枚当たり					
名称	規格	単位	GC1-B600-L600	GC1-B700-L700	GC1-B800-L800	GC1-B900-L900	GC1-B600-L900
編鋼板	SS400	kg	12.975	16.947	21.449	26.480	18.753
等辺山形鋼	SS400	kg	1.605	1.877	2.149	2.421	2.421
取手鉄筋	φ13	kg	0.936	0.936	0.936	0.936	0.936

集水樹蓋 S=1:30  
GC2-B1200-L1200



集水樹蓋 (GC2-B1200-L1200)		1枚当たり	
名称	規格	単位	数量
編鋼板	SS400	kg	62.006
等辺山形鋼	SS400	kg	6.474
取手鉄筋	φ13	kg	1.872

3号張りコンクリート S=1:20



3号張りコンクリート		10m当たり	
名称	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm2 t=7cm	m3	0.210
型枠	小型構造物	m2	1.400
目地材	t=10mm	m2	0.021

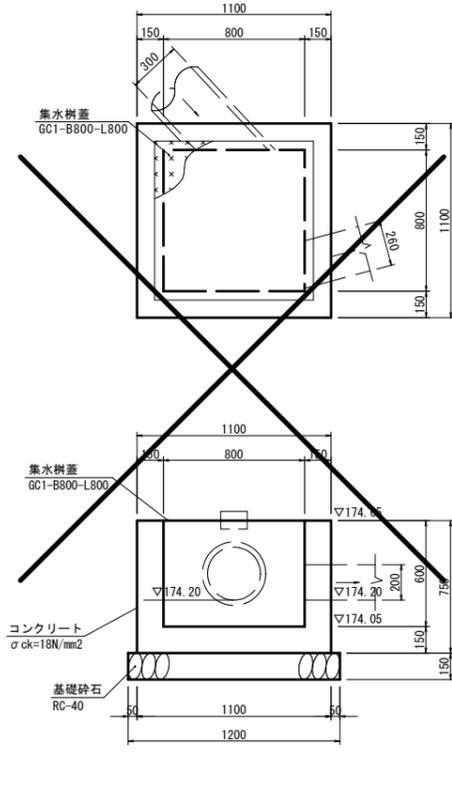
R6現年\_交付金\_起工設計

路線名	県道大滝白水線		
位置	県道大滝白水線(大坂工区) 道路災害防除工事(2工区) (防災安全交付金)		
図名	小構造物図(3/9)		
位置	西伯郡伯耆町大坂地内		
縮尺	図示	単位	M, MM
図号	全 20 葉中の内 13		
令和 6 年度 施行			
鳥取県西部総合事務所米子県土整備局			

A3版で出力する場合の縮尺は表示の50%とする

# 小構造物図(4/9)

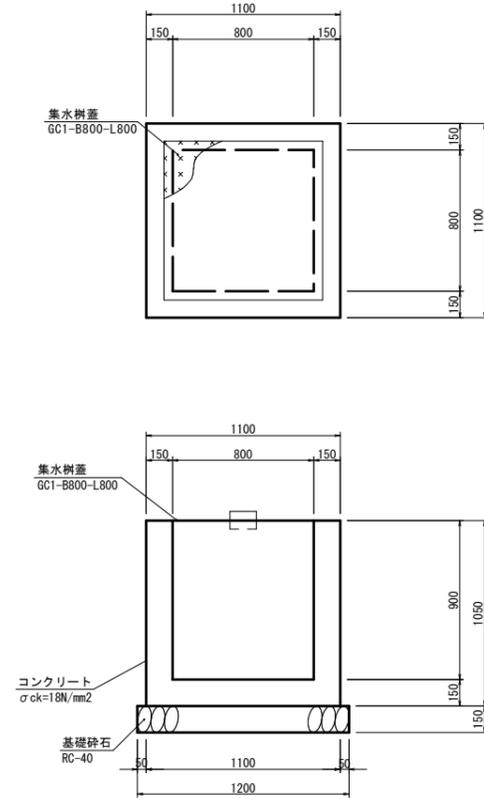
6号集水樹 S=1:20  
G-B800-L800-H600



6号集水樹 (G-B800-L800-H600) 1箇所当たり

名称	規格	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m <sup>3</sup>	0.524
型枠	小型構造物	m <sup>2</sup>	5.700
基礎砕石	RC-40 t=15cm	m <sup>2</sup>	1.440
集水樹蓋	GC1-B800-L800	枚	1

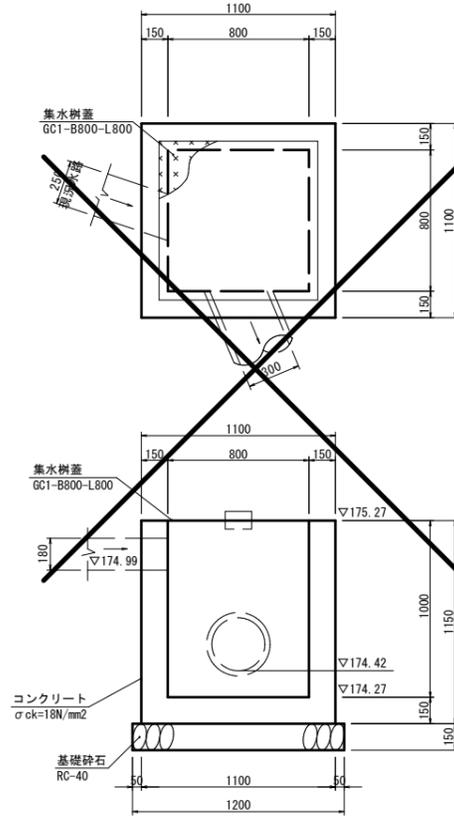
7号集水樹 S=1:20  
G-B800-L800-H900



7号集水樹 (G-B800-L800-H900) 1箇所当たり

名称	規格	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m <sup>3</sup>	0.637
型枠	小型構造物	m <sup>2</sup>	7.980
基礎砕石	RC-40 t=15cm	m <sup>2</sup>	1.440
集水樹蓋	GC1-B800-L800	枚	1

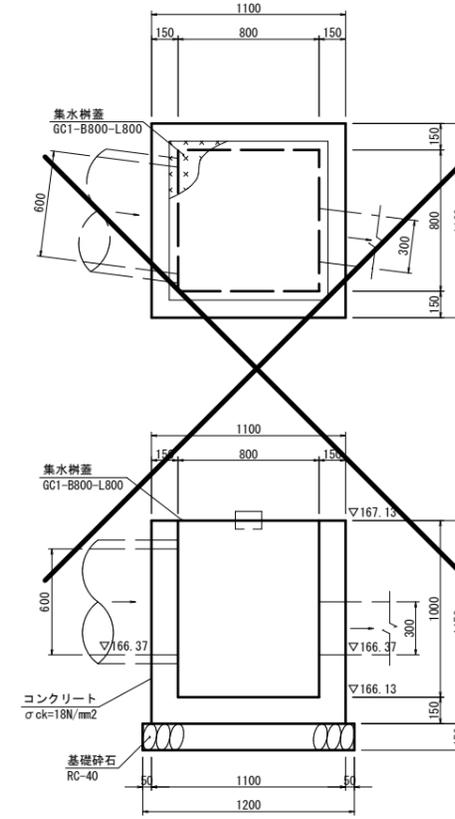
8-1号集水樹 S=1:20  
G-B800-L800-H1000



8-1号集水樹 (G-B800-L800-H1000) 1箇所当たり

名称	規格	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m <sup>3</sup>	0.752
型枠	小型構造物	m <sup>2</sup>	8.740
基礎砕石	RC-40 t=15cm	m <sup>2</sup>	1.440
集水樹蓋	GC1-B800-L800	枚	1

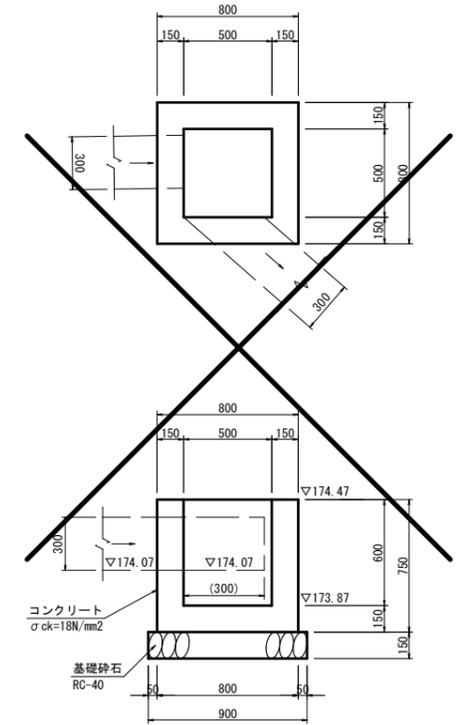
8-2号集水樹 S=1:20  
G-B800-L800-H1000



8-2号集水樹 (G-B800-L800-H1000) 1箇所当たり

名称	規格	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m <sup>3</sup>	0.694
型枠	小型構造物	m <sup>2</sup>	8.740
基礎砕石	RC-40 t=15cm	m <sup>2</sup>	1.440
集水樹蓋	GC1-B800-L800	枚	1

9号集水樹 S=1:20  
G-B500-L500-H600



9号集水樹 (G-B500-L500-H600) 1箇所当たり

名称	規格	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m <sup>3</sup>	0.330
型枠	小型構造物	m <sup>2</sup>	3.900
基礎砕石	RC-40 t=15cm	m <sup>2</sup>	0.810

※計画高及び開口の形状・方向は、平面図及び用排水系統図を参照すること。

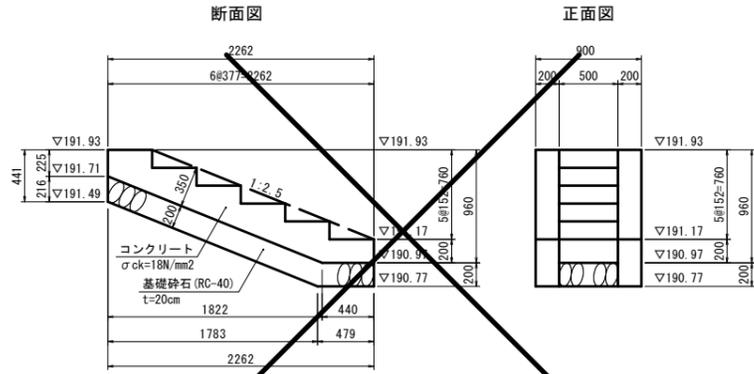
R6現年\_交付金\_起工設計

路線名	県道大滝白水線		
県道大滝白水線(大坂工区)道路災害防除工事(2工区)(防災安全交付金)			
図名	小構造物図(4/9)		
位置	西伯郡伯耆町大坂地内		
縮尺	図示	単位	M.MM
図号	全 20 葉中の内 14		
令和 6 年度 施行			
鳥取県西部総合事務所米子県土整備局			

A3版で出力する場合の縮尺は表示の50%とする

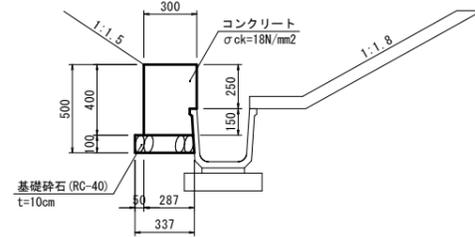
# 小構造物図(8/9)

3号階段工 S=1:30



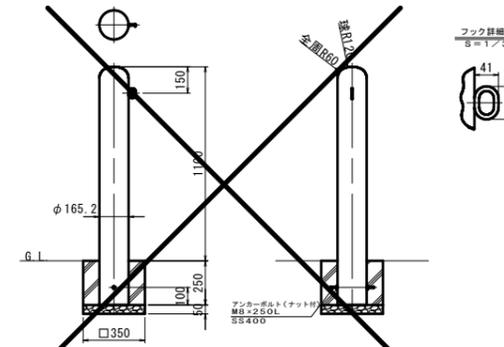
3号階段工		1箇所当たり	
名称	規格	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m <sup>3</sup>	0.828
型枠	小型構造物	m <sup>2</sup>	5.995
基礎砕石	RC-40 t=20cm	m <sup>2</sup>	1.201

調整コンクリート S=1:20



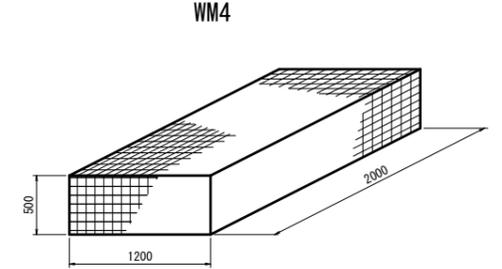
調整コンクリート		10m当たり	
名称	規格	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m <sup>3</sup>	1.200
型枠	小型構造物	m <sup>2</sup>	6.500
基礎砕石	RC-40 t=10cm	m <sup>2</sup>	3.370

車止め (参考) S=1:20



車止め		1箇所当たり	
名称	規格	単位	数量
車止め	ステンレス製、開口6mクサリ等付属物含む	基	2
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	m <sup>3</sup>	0.051
型枠	小型構造物	m <sup>2</sup>	0.700
基礎砕石	RC-40 t=5cm	m <sup>2</sup>	0.245

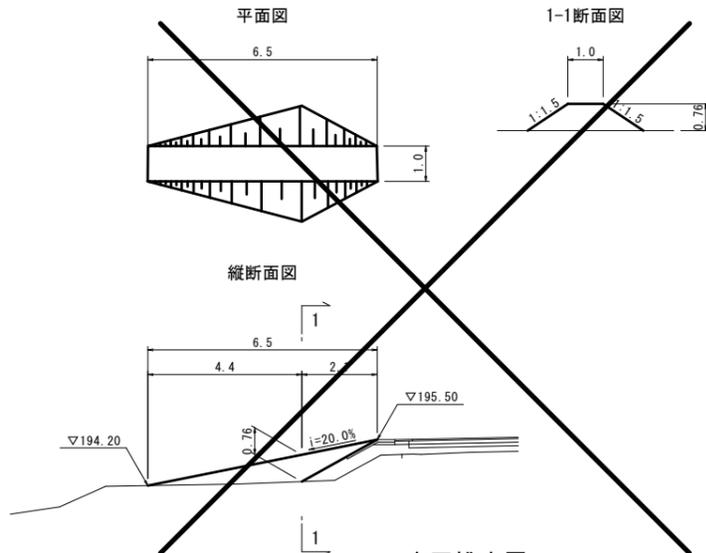
フトン籠(護床) S=1:30



フトン籠 護床(WM4)		1枚当たり	
名称	規格	単位	数量
フトン籠	φ4.0 編目15cm	枚	1
詰石		m <sup>3</sup>	1.14

※フトン籠の網目は、使用する詰石の材質及び大きさによって決定する。

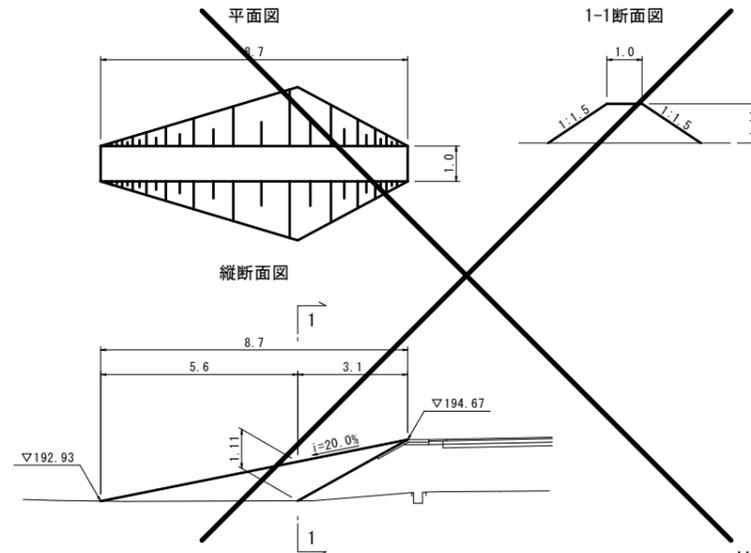
1号進入路工 S=1:100



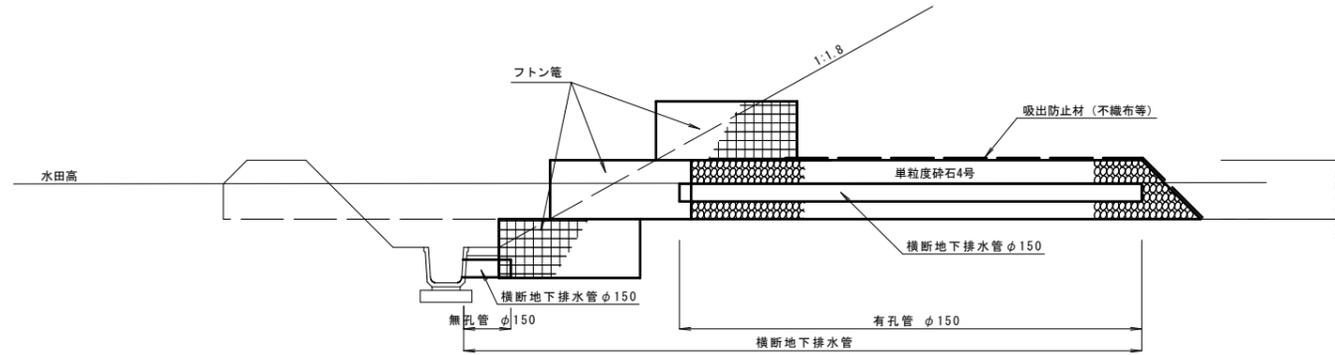
水平排水層 S=1:30

水平排水層		10m当たり	
名称	規格	単位	数量
フィルター材	単粒度砕石4号	m <sup>3</sup>	9.173
吸出防止材	不織布 t=10mm	m <sup>2</sup>	30.20
ジオグリッド	繊維系 目合23×22	m <sup>2</sup>	16.80

2号進入路工 S=1:100

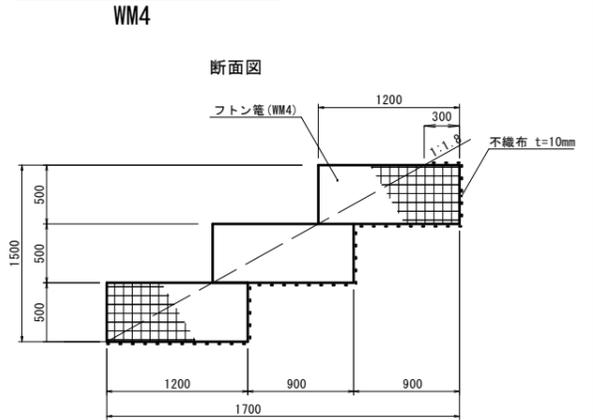


基盤排水層 S=1:30



※フィルター材、吸出防止材、横断地下排水管(有孔管φ150、無孔管φ150)の数量は、別途数量計算書で計上。  
※基盤排水層敷設幅及び横断地下排水管の平面配置・高さは、「基盤排水層敷設一般図」、「フトン籠展開図」を参照。

フトン籠(土留め) S=1:30



フトン籠 土留め(WM4)		10m当たり			
名称	規格	単位	1段積み	2段積み	3段積み
フトン籠	φ4.0 編目15cm	枚	5	10	15
詰石		m <sup>3</sup>	5.70	11.40	17.10
吸出防止材	不織布 t=10mm	m <sup>2</sup>	20.00	34.00	48.00

※フトン籠の網目は、使用する詰石の材質及び大きさによって決定する。

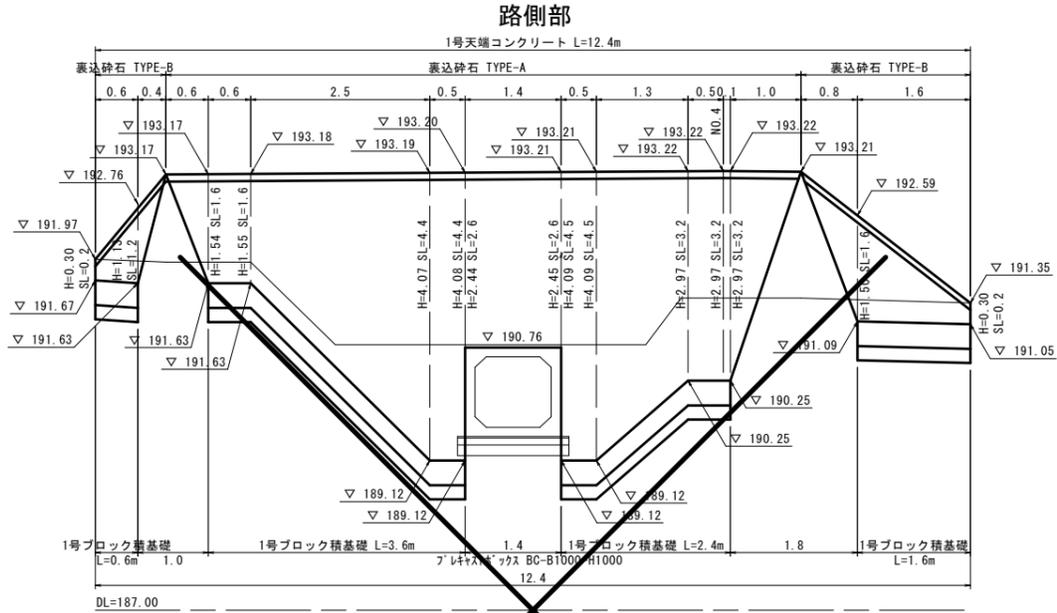
R6現年\_交付金\_起工設計

路線名	県道大滝白水線		
位置	県道大滝白水線(大坂工区) 道路災害防除工事(2工区)(防災安全交付金)		
図名	小構造物図(8/9)		
位置	西伯郡伯耆町大坂地内		
縮尺	図示	単位	M, MM
図号	全 20 葉中の内 15		
令和 6 年度 施行			
鳥取県西部総合事務所米子県土整備局			

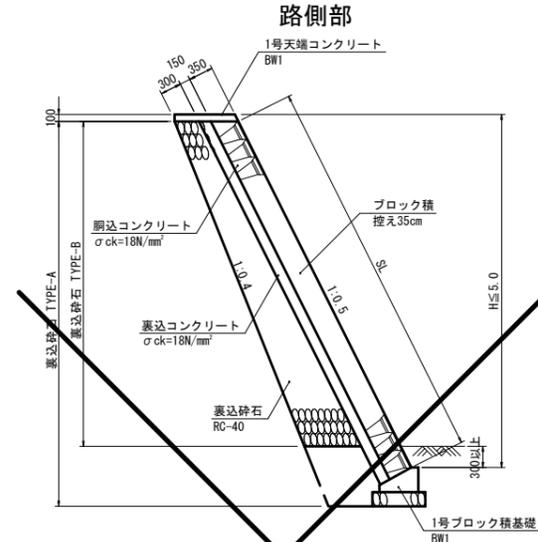
A3版で出力する場合の縮尺は表示の50%とする

# 小構造物図(9/9)

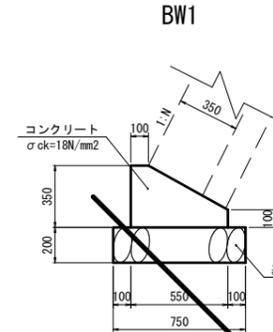
ブロック積擁壁展開図 S=1:50



ブロック積擁壁標準断面図 S=1:50

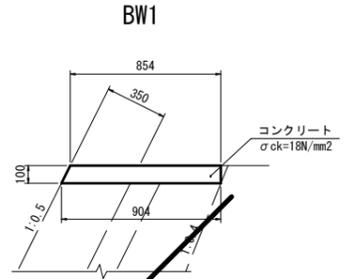


1号ブロック積基礎 S=1:20



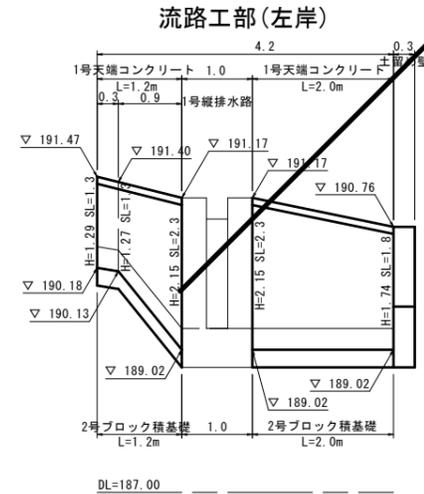
1号ブロック積基礎 (BW1)		10m当たり	
名称	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm²	m³	1.364
型枠	小型構造物	m²	4.500
基礎砕石	RC-40 t=20cm	m²	7.500

1号天端コンクリート S=1:20

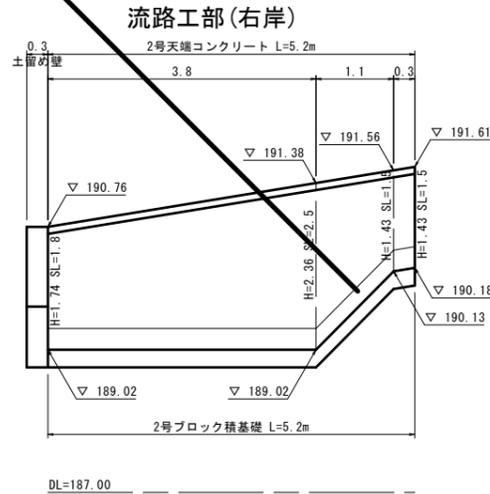


1号天端コンクリート (BW1)		10m当たり	
名称	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm²	m³	0.879
型枠	小型構造物	m²	2.118

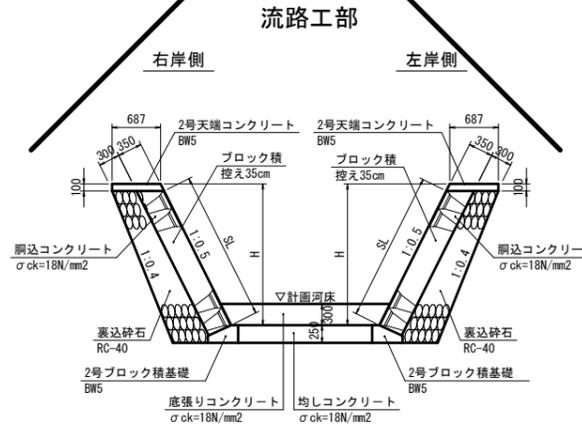
ブロック積擁壁展開図 S=1:50



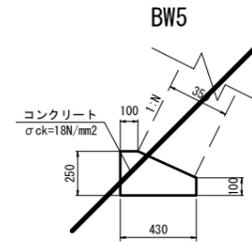
ブロック積擁壁展開図 S=1:50



ブロック積擁壁標準断面図 S=1:50

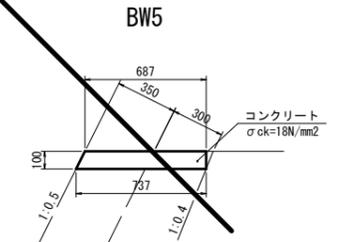


2号ブロック積基礎 S=1:20



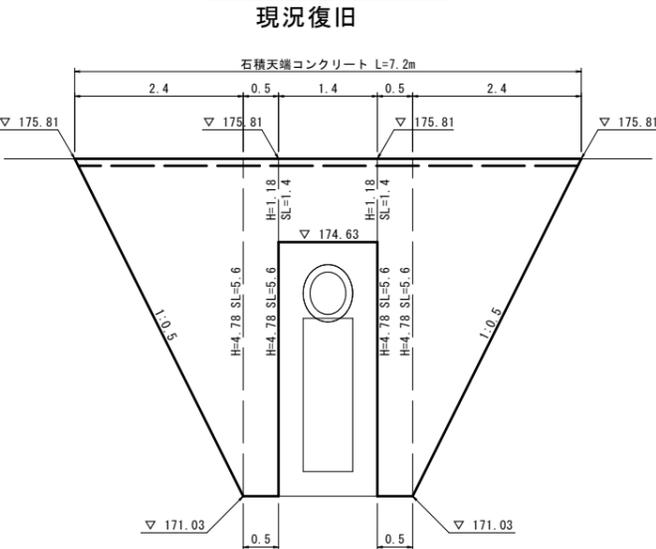
2号ブロック積基礎 (BW5)		10m当たり	
名称	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm²	m³	0.828
型枠	小型構造物	m²	3.500

2号天端コンクリート S=1:20

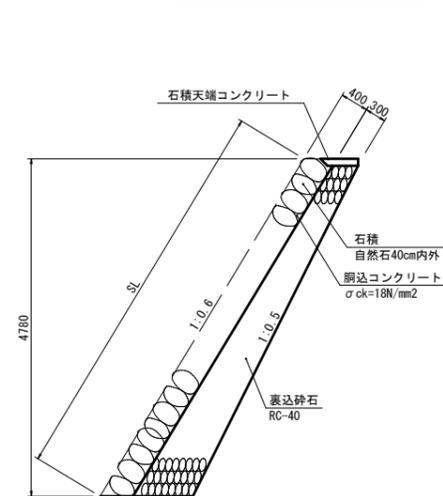


2号天端コンクリート (BW5)		10m当たり	
名称	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm²	m³	0.712
型枠	小型構造物	m²	2.118

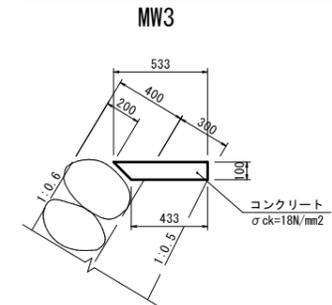
石積擁壁展開図 S=1:50



石積標準断面図 S=1:50



石積天端コンクリート S=1:20



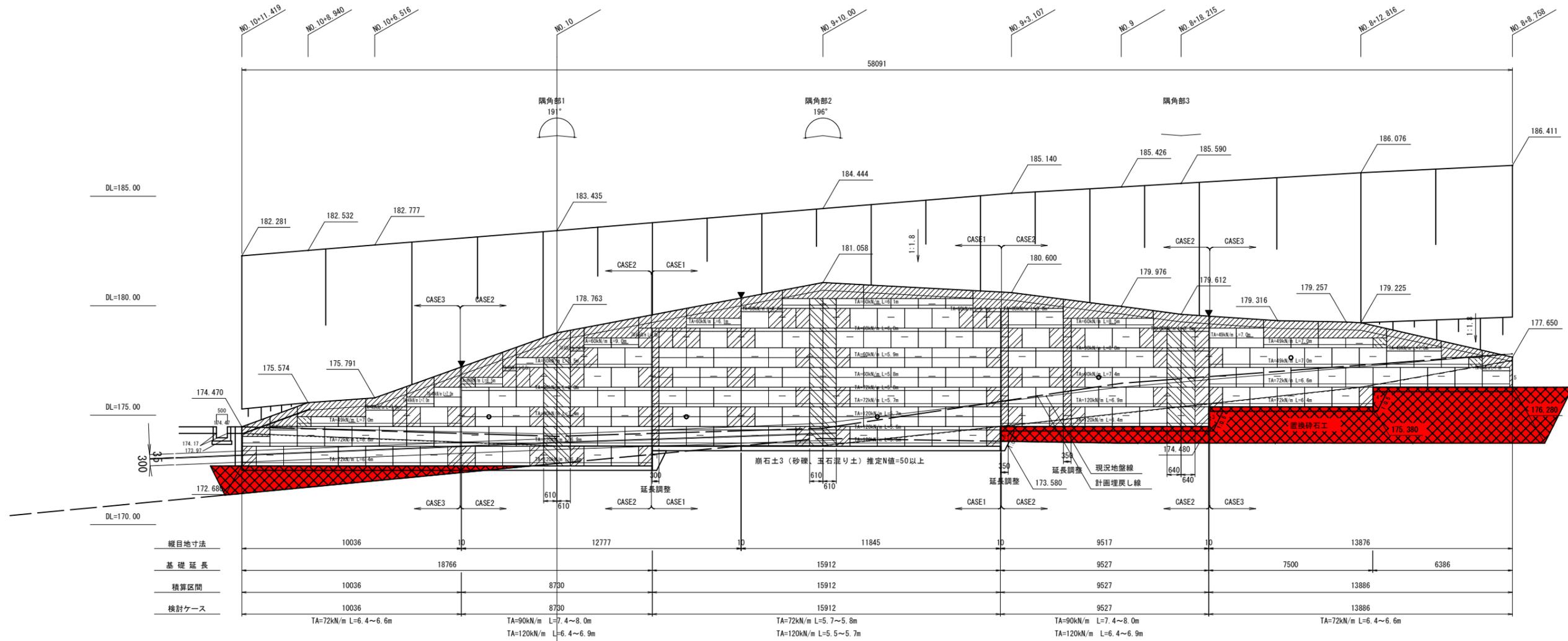
石積天端コンクリート (MW3)		10m当たり	
名称	規格	単位	数量
コンクリート	σck=18N/mm²	m³	0.483
型枠	小型構造物	m²	1.000

R6現年\_交付金\_起工設計

路線名	県道大滝白水線		
位置	県道大滝白水線(大坂工区) 道路災害防除工事(2工区)(防災安全交付金)		
図名	小構造物図(9/9)		
位置	西伯郡伯耆町大坂地内		
縮尺	図示	単位	M,MM
図号	全 20 葉中の内 16		
令和 6 年度 施行			
鳥取県西部総合事務所米子県土整備局			

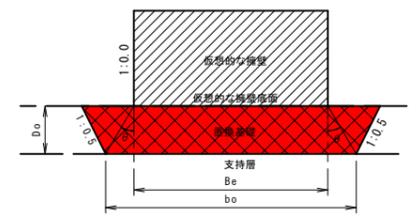
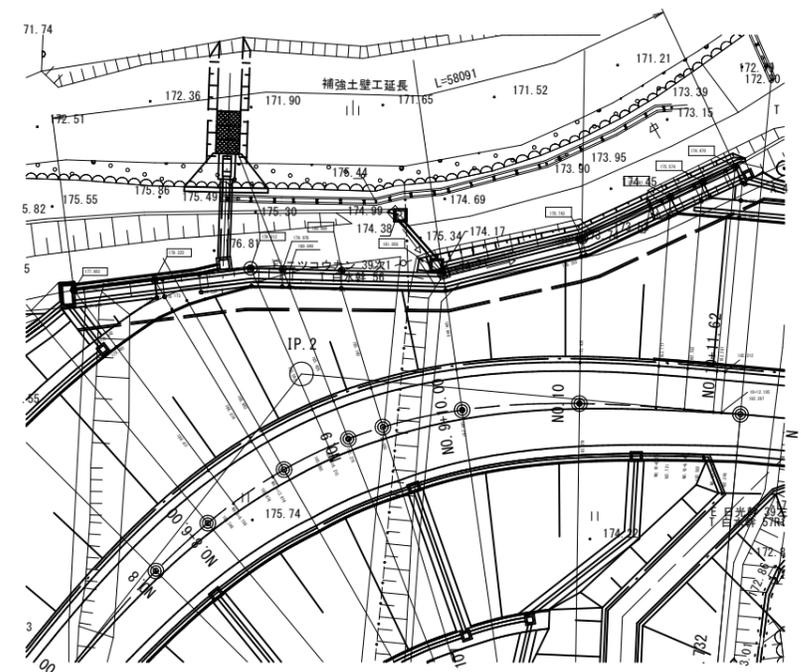
# 補強土壁工計画図

展開図 S=1:100



縦目地寸法	10036	10	12777	10	11845	10	9517	10	13876
基礎延長	10036	18766	8700	15912	9527	7500	13886	6386	
積算区間	10036	8700	15912	9527	9527	13886			
検討ケース	TA=72kN/m L=6.4~6.6m	TA=90kN/m L=7.4~8.0m TA=120kN/m L=6.4~6.9m	15912	TA=72kN/m L=5.7~5.8m TA=120kN/m L=5.5~5.7m	TA=90kN/m L=7.4~8.0m TA=120kN/m L=6.4~6.9m	13886	TA=72kN/m L=6.4~6.6m		

位置図 S=1:300



$qu = (q \cdot Be / bo + Do \cdot \gamma B) \cdot Fs$   
 ここに、 $qu$ : 置換基礎底面に作用する極限支持力度 (kN/m<sup>2</sup>)  
 $q$ : 仮想的な擁壁底面に作用する地盤反力度 (kN/m<sup>2</sup>)  
 $Be$ : 仮想的な擁壁の有効面幅 (m)  
 $\theta$ : 分散角 (30°)  
 $bo$ : 分散角を考慮した置換基礎の底面幅 (m)  
 $bo = Be + 2 \cdot Do \cdot \tan \theta$   
 $Do$ : 置換基礎の深さ (m)  
 $\gamma B$ : 置換基礎の単位体積重量 (kN/m<sup>3</sup>)  
 $Fs$ : 安全率 (常時3)

CASE	検討高 H (m)	置換基礎の深さ Do (m)	極限支持力度	
			仮想的な擁壁底面 qu (kN/m <sup>2</sup> )	置換基礎底面 quo (kN/m <sup>2</sup> )
1	7.55	-	616.845	-
2	7.00	0.798	746.328	700.278
3	4.60	0.798	434.712	427.881

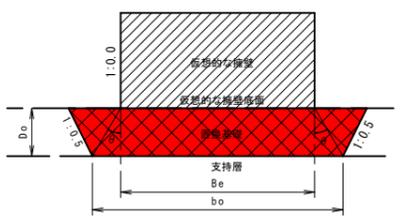
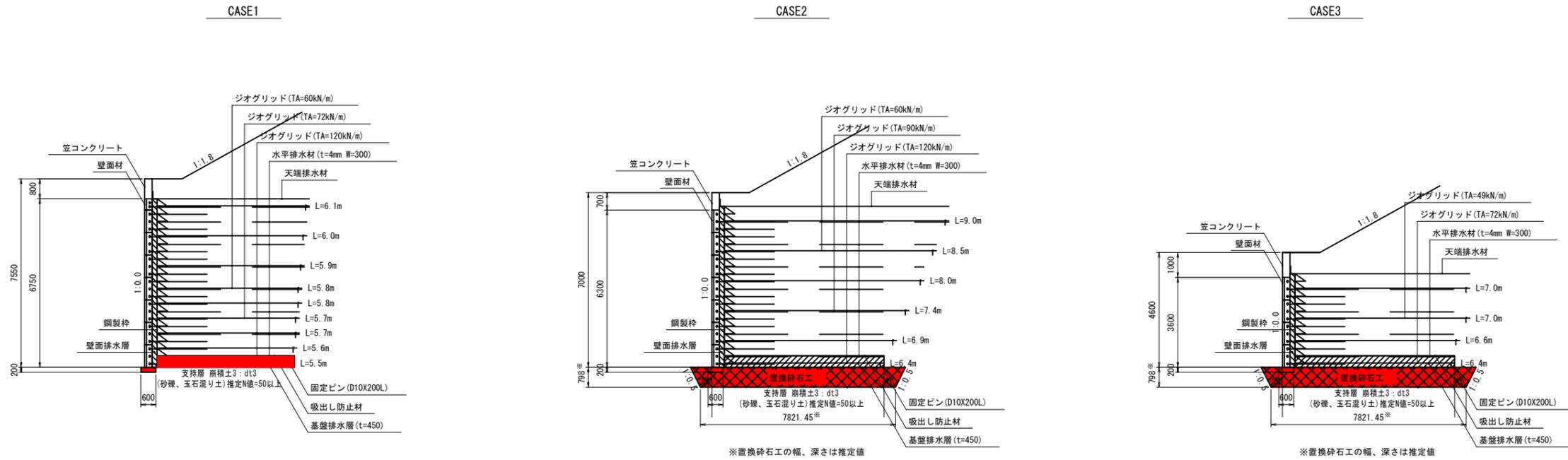
**留意事項 (報告書参照)**

- 補強土壁背面 (補強領域) の盛土材料について  
補強土壁背面 (補強領域) の盛土材料は、他現場からの発生土を利用する計画としている。  
下記に示す土質条件と異なる場合には、補強土壁の補強材・敷設長等について再度検討すること。
- ・土の単位体積重量  $\gamma = 19 \text{ kN/m}^3$
- ・せん断抵抗角  $\phi = 25^\circ$
- ・粘着力  $C = 6.2 \text{ kN/m}^2$
- 補強土壁基礎部の確認について  
地層線は、Bor調査 (柱状図) から推定したものである。  
本計画では、比較的緩い層 (崩壊土 1) を取り除き「置換砕石工」を計画している。  
必ず、平板載荷試験などにより仮想的な擁壁底面 (置換砕石工上面) および置換基礎底面の極限支持力度を確認すること。  
確認する数値 (極限支持力度) は当該図面および報告書の「施工上の留意点」に記載している。
- 置換え深さ (仮想的な擁壁底面から支持層までの深さ) は、Bor調査 (柱状図) から推定した地層線により設定したものである。  
置換砕石工の置換え幅は、置換え深さにより変化するため、必ず崩壊土 3:dt3 (砂礫、玉石混じり土) 推定N値=50以上にて着させ、置換え範囲を確定すること。  
置換基礎底面の極限支持力度は、置換基礎の深さにより変化する。置換基礎の深さが設計値と異なる場合は、報告書の「施工上の留意点」に記載の「必要地耐力 (極限支持力度) 一覧表」を参照されたい。

壁面材	AP-900AR ㊦ (W1250×H900)
	AP-900VH ㊦ (W1250×H450)
	AP-900MH ㊦ (W625×H900)
	AP-900SD ㊦ (W625×H450)
	AP-900LR ㊦ 長さ調整用㊦
	AP-900OR ㊦ 角度調整用㊦
排水材	水平排水材 (t=4mm W=300)
補強材	ジオグリッド (主補強材)
空コン	
縦目地	

R6現年 交付金 起工設計	
路線名	県道大滝白水線
県道大滝白水線 (大坂工区) 道路災害防除工事 (2工区) (防災安全交付金)	
図名	補強土壁工計画図
位置	西伯郡伯耆町大坂地内
縮尺	図示 単位 M, MM
図号	全 20 葉中の内 17
令和 6 年度 施行	
鳥取県西部総合事務所米子県土整備局	

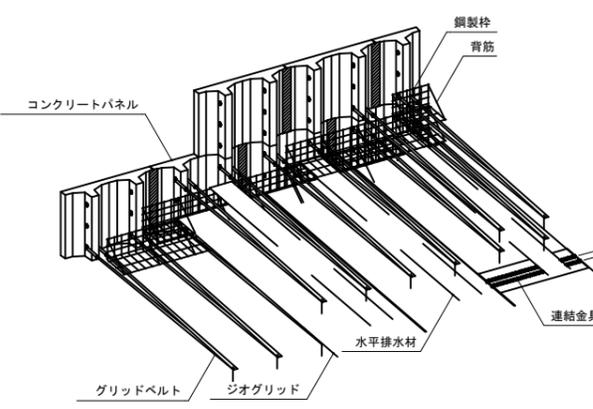
補強土壁工標準断面図 S=1:100



$q_{uo} = (q \cdot Be / bo + Do \cdot \gamma B) \cdot Fs$

ここに、 $q_{uo}$ : 置換基礎底面に作用する極限支持力度 (kN/m<sup>2</sup>)  
 $q$ : 仮想的な擁壁底面に作用する地盤反力度 (kN/m<sup>2</sup>)  
 $Be$ : 仮想的な擁壁の有効底面幅 (m)  
 $\theta$ : 分散角 (30°)  
 $bo$ : 分散角を考慮した置換基礎の底面幅 (m)  
 $bo = Be + 2 \cdot Do \cdot \tan \theta$   
 $Do$ : 置換基礎の深さ (m)  
 $\gamma B$ : 置換基礎の単位体積重量 (kN/m<sup>3</sup>)  
 $Fs$ : 安全率 (常時3)

アデムウォール背面構造図



ラップ長さ W  
 TA=22kN/m~TA=37kN/m: 60cm以上  
 TA=49kN/m: 80cm以上  
 TA=60kN/m~TA=90kN/m: 100cm以上  
 TA=120kN/m: 120cm以上

連結数  
 TA=22kN/m~TA=37kN/m: 2列  
 TA=49kN/m: 3列  
 TA=60kN/m~TA=90kN/m: 4列  
 TA=120kN/m: 5列

必要地耐力

CASE	検討高 H(m)	置換基礎の深さ Do(m)	極限支持力度	
			仮想的な擁壁底面 qu (kN/m <sup>2</sup> )	置換基礎底面 qu <sub>o</sub> (kN/m <sup>2</sup> )
1	7.55	-	616.845	-
2	7.00	0.798	746.328	700.278
3	4.60	0.798	434.712	427.881

特記事項

建設技術審査証明: 第1103号

補強土壁工	面状補強材(ジオテキスタイル)を層状に敷設し、補強材の引張力と土との摩擦抵抗力によってせん断強さを補強し、安定した二重壁構造を有する盛土構造物を構築する。								
盛土材料	<table border="1"> <tr> <th>土質条件</th> <th>単位体積重量</th> <th>粘着力</th> <th>せん断抵抗角</th> </tr> <tr> <td></td> <td><math>\gamma = 19.0 \text{ kN/m}^3</math></td> <td><math>c = 6.2 \text{ kN/m}^2</math></td> <td><math>\phi = 25.0^\circ</math></td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>施工前に盛土材の土質試験を実施し、設計定数を確認する。</li> <li>免状機関の定める規定値に従い、綿密な管理を行う。</li> <li>置換土工補強土底面全域に対して支持層とする。</li> <li>盛土材料は、適切な含水比とする。</li> </ul>	土質条件	単位体積重量	粘着力	せん断抵抗角		$\gamma = 19.0 \text{ kN/m}^3$	$c = 6.2 \text{ kN/m}^2$	$\phi = 25.0^\circ$
土質条件	単位体積重量	粘着力	せん断抵抗角						
	$\gamma = 19.0 \text{ kN/m}^3$	$c = 6.2 \text{ kN/m}^2$	$\phi = 25.0^\circ$						
基礎地盤	<table border="1"> <tr> <th>基礎地盤(支持層)</th> <th>内部摩擦角</th> <th>粘着力</th> </tr> <tr> <td></td> <td><math>\phi = 40.0^\circ</math></td> <td><math>c = 0.0 \text{ kN/m}^2</math></td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>良好な地盤又は適切な処置が施された地盤とする。</li> <li>床掘り完了後に所定の支持力を満足するか確認する。</li> <li>置換土工補強土底面全域に対して支持層とする。</li> <li>崩積土3(砂礫、玉石混り土) 推定N値=50以上に定着させる。</li> </ul>	基礎地盤(支持層)	内部摩擦角	粘着力		$\phi = 40.0^\circ$	$c = 0.0 \text{ kN/m}^2$		
基礎地盤(支持層)	内部摩擦角	粘着力							
	$\phi = 40.0^\circ$	$c = 0.0 \text{ kN/m}^2$							
排水工	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な排水処理を施す。</li> <li>予期せぬ湧水が確認された場合は、速やかに排水対策を行う。</li> <li>施工中は、仮排水工を設けるなどして、盛土本体や壁面へ水を湧かないよう排水処理を行う。</li> <li>補強土壁の底盤は排水対策を施す。</li> </ul>								
壁面材	<ul style="list-style-type: none"> <li>補強盛土体を長期的に保護でき、排水層の砕石による土圧に対して十分な耐力をもち、耐久性に優れた長期の使用が可能な材料を用いる。</li> </ul>								
補強材	<ul style="list-style-type: none"> <li>補強材は、(財)土研センターの建設技術審査証明報告書を有する製品とする。</li> <li>補強材は、4.5%程度の伸びで所定の引張強さを発現する面状の材料とする。</li> <li>礫材等による補強材の耐衝撃性は、90%以上の強度保持率を有する材料とする。</li> <li>耐久性に優れた材料とする。</li> <li>隣接する補強材の敷設は、最大30cm程度の間隔とする。(ラップする必要は無い)</li> <li>曲線部や折れ部において、隣接する主補強材間の隙間が10cm程度以上となった場合は、同質・同等の材料にて隙間を埋める。</li> </ul>								
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>労働安全衛生法および労働安全衛生規則などに遵守する。</li> </ul>								

留意事項 (報告書参照)

○補強土壁背面(補強領域)の盛土材について  
 本計画では、比較的緩い層(崩積土1)を取り除き「置換砕石工」を計画している。  
 必ず、平板載荷試験などにより仮想的な擁壁底面(置換砕石工上面)および置換基礎底面の極限支持力度を検証すること。  
 確認する数値(極限支持力度)は当該図面および報告書の「施工上の留意点」に記載している。  
 置換深さ(仮想的な擁壁底面から支持層までの深さ)は、Bor調査(柱状図)から推定した地層線により設定したものである。  
 置換砕石工の置換幅は、置換深さにより変化するため、必ず崩積土3:dt3(砂礫、玉石混り土) 推定N値=50以上に定着させ、置換範囲を確定すること。  
 置換基礎底面の極限支持力度は、置換基礎の深さにより変化する。置換基礎の深さが設計値と異なる場合は、報告書の「施工上の留意点」に記載の「必要地耐力(極限支持力度)一覧表」を参照されたい。

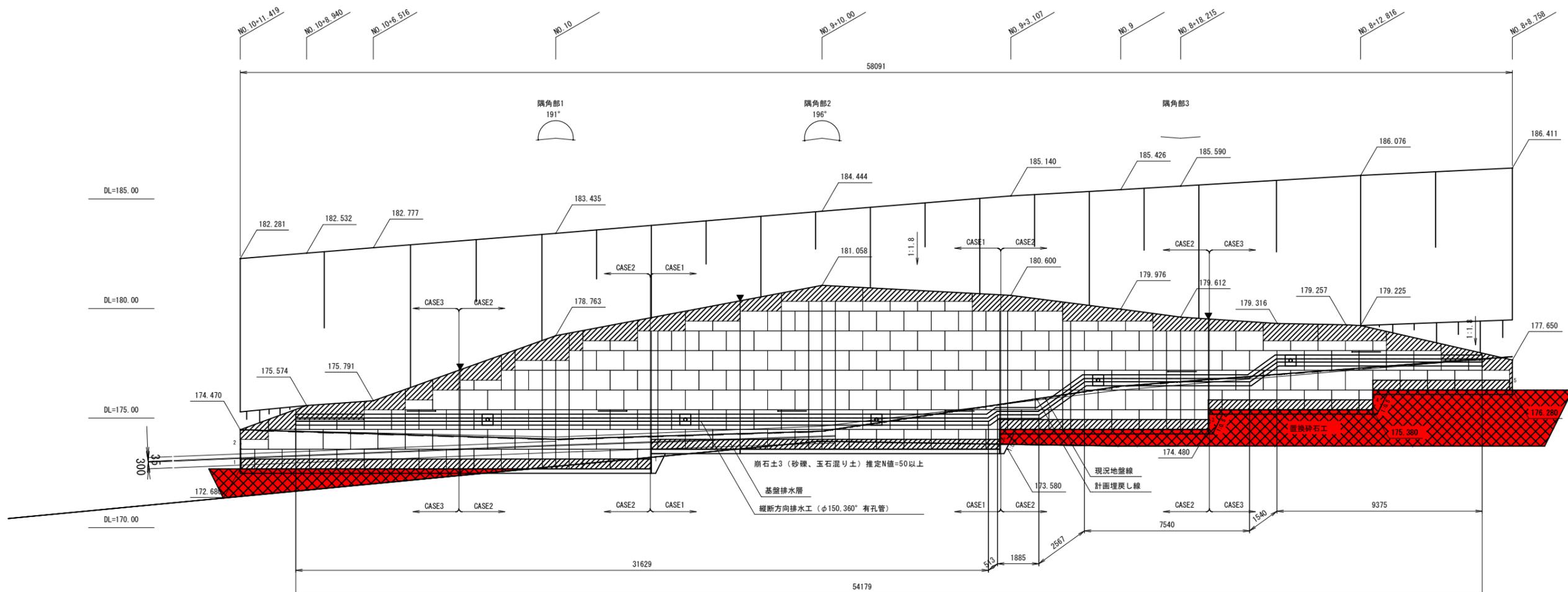
R6現年交付金 起工設計

路線名	県道大滝白水線
位置	西伯郡伯耆町大坂地内
縮尺	1:100
単位	M, MM
図号	全 20 葉中の内 18
令和 6 年度 施行	
鳥取県西部総合事務所米子県土整備局	



# 補強土壁工排水計画図

展開図 S=1:100



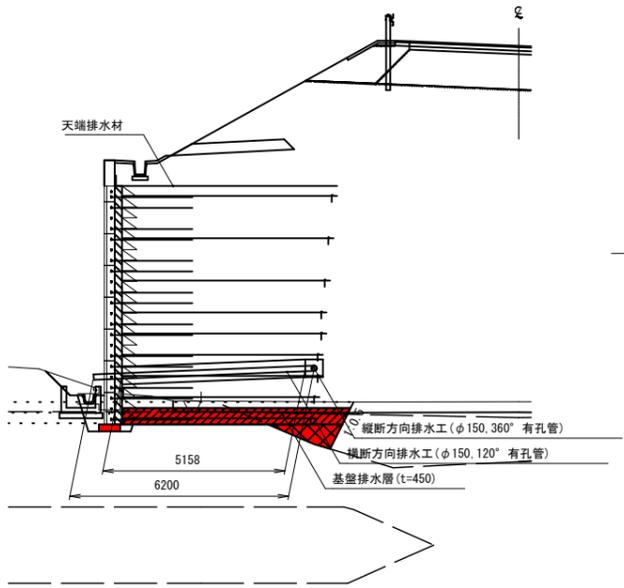
\* 置き換え工補強土底面部全域に対して支持層とする。  
崩石土3 (砂礫、玉石混り土) 推定N値=50以上に定着させること。

\* 縦断排水寸法は敷設長表記  
\* ( ) 数値は砕石部の延長

標準断面図 S=1:100

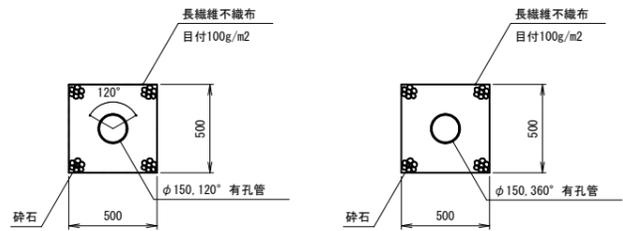
- (1) 横断方向排水工 (120° 有孔管 φ150)  
L=8.0m (L=6.9m)
- (2) 横断方向排水工 (120° 有孔管 φ150)  
L=6.3m (L=5.2m)
- (3) 横断方向排水工 (120° 有孔管 φ150)  
L=6.3m (L=5.2m)
- (4) 横断方向排水工 (120° 有孔管 φ150)  
L=8.0m (L=6.9m)
- (5) 横断方向排水工 (120° 有孔管 φ150)  
L=7.6m (L=6.5m)

## 排水工詳細図



横断方向排水工 S=1:20

縦断方向排水工 S=1:20



### 特記事項

- 1) 〓は、縦断管勾配方向を、  
●は、横断管排出位置を示す
- 2) 補強土壁の最深部には、横断方向排水工を2箇所設置する
- 3) 補強土壁天端には盛土内への水の浸入を防ぐためのシールコンクリートや排水溝を設ける

### 地下排水工数量表

工程	種別	規格寸法	単位	数量
縦断-横断 方向排水	有孔管 (縦断管)	φ=150 360° 有孔	m	55.0
	有孔管 (横断管)	φ=150 120° 有孔	m	36.2
	長繊維不織布	目付100g/m2	m2	171.4
	砕石	C-40	m3	19.9

φ: 直径 (mm), W: 幅 (mm)

### 特記事項

基盤排水工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補強土壁の底面には、地下水および地山からの湧水等による補強領域内への浸入を防止し、速やかに補強領域外に排除するための、基礎地盤の表面に厚さ50mm程度の基盤排水工を設置する。</li> <li>・基盤排水工には、砕石または砂等の透水性が高く、せん断強度の大きい土質材料を用いるものとし、透水係数は<math>1 \times 10^{-1} \sim 1 \times 10^{-2}</math> (cm/s) 程度以上、かつ土材料の透水係数の100倍程度以上とする。</li> <li>・基盤排水工に細粒分が浸入することが考えられる場合は、基盤排水工の上面に吸出し防止材 (ジオフリースなど) を敷設する。</li> </ul>
水平排水層	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補強領域内への深透水を排除するため、盛土の一定厚さごとに、補強領域内に適切な排水勾配で水平排水層を設ける。排水材料としては、砕石や砂または高い排水機能を有する不織布や透水マット (エンドレンフィルター、エンドレンマットリブ型など) を用いる。</li> <li>・補強領域の水平排水層は、湧水等を補強領域内に導水しないように切盛境に設置する縦断排水工と連結しないこと。</li> </ul>
横断方向排水工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補強土壁の横断方向には、横断方向排水工を10mの間隔で設け、補強土壁の最深部には2箇所設置する。</li> </ul>
縦断方向排水工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水が集まりやすい切盛境や掘削のり面の小段には、湧水量の程度に応じて適切な縦断方向排水工を設ける。</li> </ul>
天端排水材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補強土壁の天端には、補強土壁の上側からの水の浸入を防ぐための天端排水材として、不織布 (ジオフリースS-300) を敷設する。</li> <li>・天端排水材を設ける高さに路盤がある場合は、最上段に敷設されるアザムと同程度の高さに天端排水材を設ける。</li> </ul>

### R6現年\_交付金\_起工設計

路線名	県道大滝白水線		
県道大滝白水線 (大坂工区) 道路災害防除工事 (2工区) (防災安全交付金)			
図名	補強土壁工排水計画図		
位置	西伯郡伯耆町大坂地内		
縮尺	図示	単位	M, MM
図号	全 20 葉中の内 20		
令和 6 年度 施行			
鳥取県西部総合事務所米子県土整備局			